

愛知学院大学短期大学部
2021 年度学生生活アンケート結果

愛知学院大学学生委員会および学生部学生課は、「本学での学生生活の現状を把握し、今後の学生生活をより充実したものにするために、本学としてどのようなことをしなければならないかを知るために」、平成元年（1989年）から、後3年もしくは4年ごとに「学生生活アンケート」を実施している。

愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科においても、完成年度を迎えた平成20年（2008年）度に、第1回の「学生アンケート」を実施し、その後、平成25年（2013年）度に第2回、平成28年（2016年）度に第3回、令和元年（2019年）度に第4回を実施し、今回、第5回令和3年（2019年）度アンケートとして、2021年12月に実施した。なお、2019年度よりIR・キャリアサポート委員会によって実施され、また、調査対象に専攻科が追加された（全学年のデータは専攻科を含む）。

従来のアンケート調査は、教室内でアンケート用紙に回答する形で実施されて来たが、今回は新型コロナウイルス感染症の蔓延により教室内での実施が困難となり、初めてTeamsを利用したオンラインアンケートとなった。

アンケートの設問事項は平成25年に愛知学院大学学生委員会および学生部学生課によって行われた「学生生活アンケート」に準じて設定されたが、その後、短期大学部の実情や時代背景等を考慮して見直し変更している。今回のアンケート項目は、概ね2019年度に準じているが一部変更した。

2021年度アンケート実施時の在籍者数は1年生107名、2年生105名、3年生99名、専攻科生7名である。回答が得られた学生数は1年生56名（回答率52.3%）、2年生104名（同99.0%）、3年生94名（同94.9%）、専攻科6名（同85.7%）であった。1年生の回答率は2年生以上に比較して低かったが、全体的には、短期大学部歯科衛生学科の意向を反映していると思われる。コロナ禍での学生生活は、かつて経験した事のないものであり、特に、1年生は入学前からずっとコロナ禍の中で過ごしてきたことから「学生生活」を身近に感じる事が少なかったのかも知れない。なお、設問によっては無回答がみられたが、それらについては無視し、統計処理を行っていない。

1. 基本情報

[問3]現在の住居形態を選択してください。

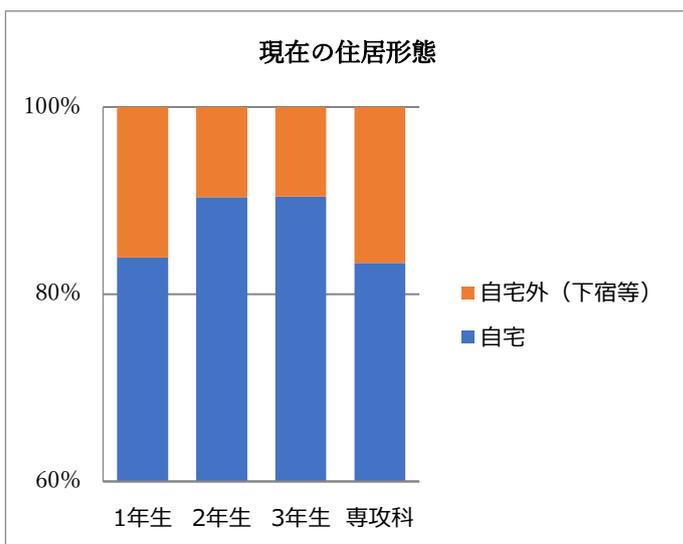
1. 自宅
2. 自宅外（下宿等）

問3表 全学年の選択肢別割合（%）

	自宅	自宅外	その他	合計
前回	88.89	10.79	0.32	100
今回	88.85	11.15	—	100

この設問は、学生の住居形態について、「自宅」、「自宅外」、「その他」の3つの選択肢で回答を求めた。全体としては、「自宅」が圧倒的に多い。前回と比較しても、殆ど変化が見られなかった。

学年別では、「自宅外」は1年生と専攻科で多く、2年生と3年生で少なかった。



[問 4] 授業料等の学費は誰が支払っているか選択してください。

1. 全額家庭から払っている
2. 半分以上は家庭から払っている
3. 全額奨学金で払っている
4. 半分以上は奨学金で払っている
5. 全額自分のアルバイト代で払っている
6. 半分以上は自分のアルバイト代で払っている
7. その他

問 4 表 全学年の選択肢別割合 (%)

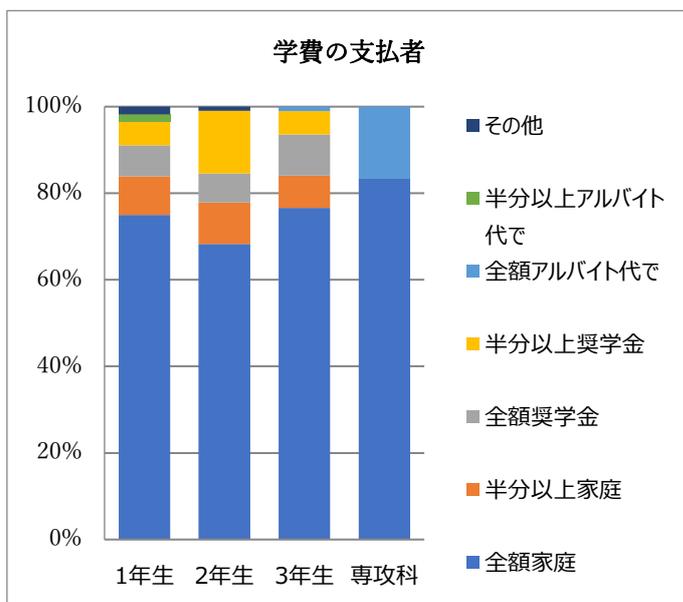
	全額家庭	半分以上 家庭	全額奨学金	半分以上 奨学金	全額 アルバイト	半分以上 アルバイト	その他	合計
前回	78.03	5.41	7.01	7.96	0.64	0.64	0.32	100
今回	73.08	8.46	7.69	8.85	0.77	0.38	0.77	100

この設問では、学費の支払い者は誰かについて回答を求めた。

全体としては、「全額家庭から払っている」学生が 73%を占める。次いで、半分以上は奨学金で払っている、「半分以上は家庭から払っている」、「全額奨学金で払っている」の順である。

前回と比較すると、「奨学金」（「全額奨学金で払っている」＋「半分以上は奨学金で払っている」）で払っている学生の割合は前回の 15.0%から今回 16.5%と僅かに増加している。

学年別にみると、「全額家庭から払っている」学生は 1年生 75.0%、2年生 68.3%、3年生 76.6%、専攻科 (83.3%) と専攻科でやや家庭への依存度が高いことを示している。一方、「全額あるいは半分以上奨学金」で支払っている学生の割合は、1年生 12.5%、2年生 21.2%、3年生 14.9%、専攻科 0%で、専攻科の奨学金への依存度は認められなかった。専攻科は経済的に恵まれた家庭環境が比較的多いと思われる。



[問5] 家庭からもらっている月あたりの金額を選択してください。

1. もらっていない
2. 30,000 円未満
3. 30,000～50,000 円未満
4. 50,000 円以上

問5表 全学年の選択肢別割合 (%)

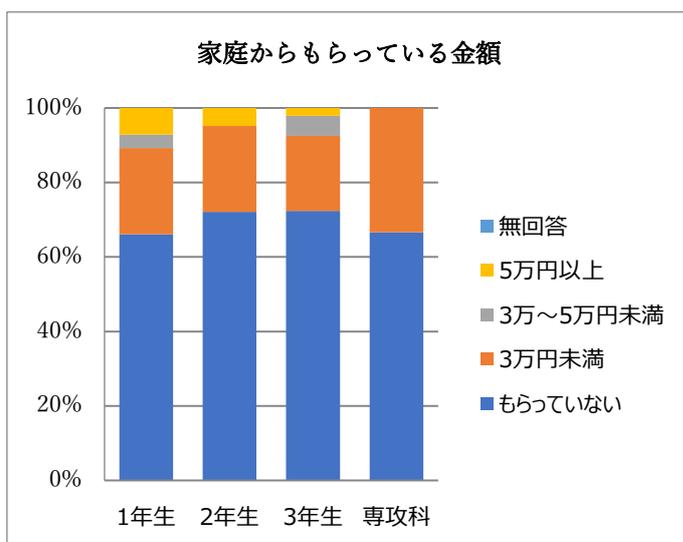
	もらっていない	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6万円以上	決まっていない	合計
前回	62.22	13.02	8.57	2.54	1.27	0.95	0.00	0.63	10.79	100
今回	70.77	22.31			2.69		4.23		—	100

この設問では、家庭からもらう1ヶ月あたりの小遣いの額について回答を求めた。

全体としては、小遣いを「もらっていない」学生がほぼ70.8%を占め、もらっている学生より多い。もらっている学生も「30,000円未満」が22.3%で、93%の学生は小遣いを「もらってない」か、もらっていても「30,000円未満」である。

前回と比較すると、小遣いをもらっている学生が減少している。

学年別にみると、「もらっていない」学生は1年生66.1%、2年生72.1%、3年生76.6%と高学年になるほど増加するが、専攻科では66.7%と3年生よりも10%減少した。



[問 6] 平均睡眠時間を選択してください。

1. 3時間未満
2. 3時間以上5時間未満
3. 5時間以上7時間未満
4. 7時間以上9時間未満
5. 9時間以上

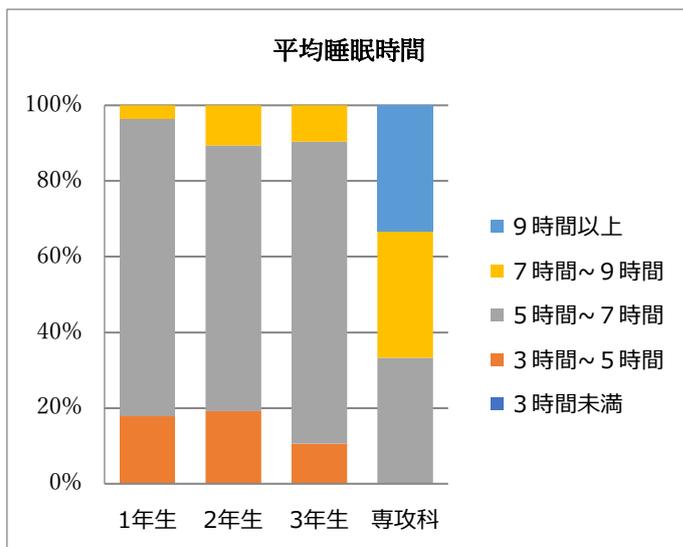
問 6 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	3時間未満	3時間以上 5時間未満	5時間以上 7時間未満	7時間以上 9時間未満	9時間以上	合計
前回	—	—	—	—	—	0
今回	0.00	15.38	74.62	9.23	0.77	100

この設問では、普段の睡眠時間について回答を求めた。

睡眠時間は「5時間以上7時間未満」が最も多く74.6%、次いで「3時間以上5時間未満」15.4%、「7時間以上9時間未満」9.2%であった。前回は「就寝時間」についてのアンケートであったために睡眠時間の比較は出来なかった。

学年別に比較すると、睡眠時間が比較的短い「3時間以上5時間未満」は、1年生17.9%、2年生19.2%、3年生10.6%、専攻科0.0%で、比較的長い「7時間以上9時間未満」は、1年生3.6%、2年生10.6%、3年生9.6%、専攻科33.3%である。睡眠時間の短い学生は1年生、2年生に多く、睡眠時間の長い学生は専攻科に多い。



2. 通学状況

[問7]現在どこに住んでいるか選択してください。

1. 名古屋市内
2. 名古屋市以外の愛知県
3. 岐阜県
4. 三重県
5. 静岡県
6. その他

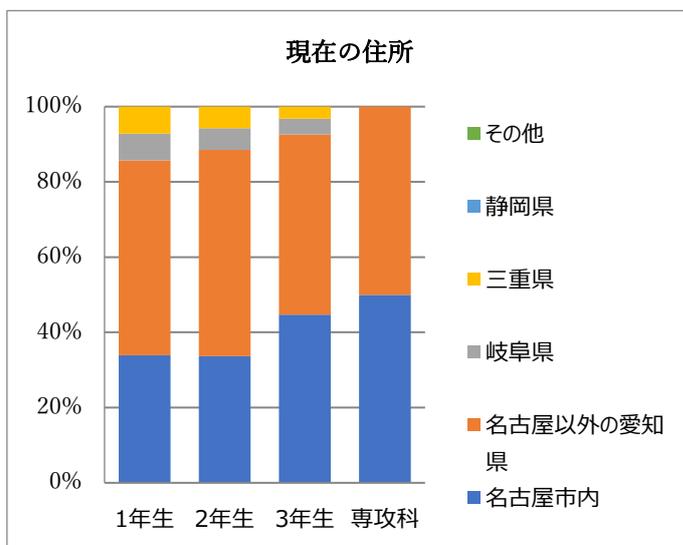
問7表 全学年の選択肢別割合 (%)

	名古屋市	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	その他	合計
前回	36.83	52.06	5.71	4.44	0.00	0.95	100
今回	38.08	51.54	5.38	5.00	0.00	0.00	100

この設問では、どこに住んでいるかについて回答を求めた。

全体としては、「名古屋市以外の愛知県」に住む学生が半数を占め、次いで「名古屋市」、「岐阜県」、「三重県」の順である。この傾向は、前回と殆ど同じである。

学年別に見ると、「名古屋市」に住む学生は、1年生 33.9%、2年生 33.7%、3年生 44.7%、専攻科 50%と3年生と専攻科の学生が多い。逆に、「岐阜県」、「三重県」に住む学生は1年生、2年生に多く、「愛知県」に住む学生はどの学年も殆ど同じである。



[問 8]次の中から現在利用している通学手段を選択してください。(複数回答可)

1. 電車
2. バス
3. 自転車
4. 徒歩
5. その他

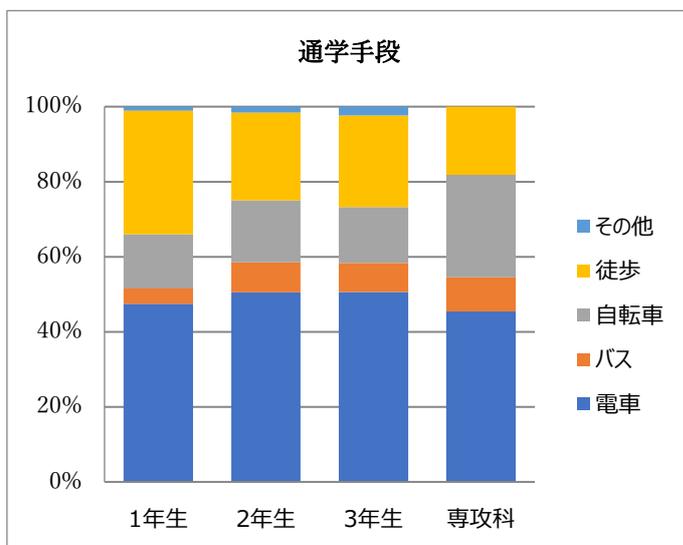
問 8 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	電車	バス	自転車	徒歩	その他
前回	—	—	—	—	—
今回	88.85	12.69	28.08	45.77	3.08

この設問では、キャンパスまでの通学手段について回答を求めた。

全体としては、電車が最も多く、次いで、徒歩、自転車、バスの順である。

学年別にみると、「電車」は1年生47.4%、2年生50.1%、3年生50.6%、専攻科45.5%とほぼ同じ割合である。「徒歩」は1年生33.0%、2年生23.4%、3年生24.4%、専攻科18.2%で、1年生が多く、専攻科が少ない。「自転車」は、1年生14.4%、2年生16.5%、3年生14.9%、専攻科27.3%で専攻科が多い。



[問 9] 平均通学所要時間（片道）を選択してください。

1. 1 時間未満
2. 1 時間以上 2 時間未満
3. 2 時間以上

問 9 表 全学年の選択肢別割合 (%)

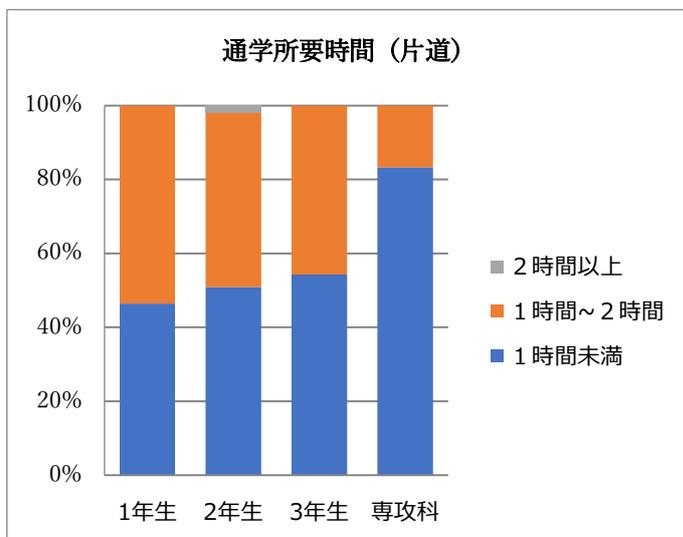
	30 分未満	30 分～ 1 時間未 満	1 時間～ 1 時間 30 分未満	1 時間 30 分～ 2 時間未 満	2 時間～ 2 時間 30 分未満	2 時間 30 分～ 3 時間未 満	3 時間以上	合計
前 回	16.56	33.12	34.71	13.38	1.91	0.32	0.00	100
今 回	51.92		47.31		0.77			100

この設問では、片道の通学時間がどれくらいかについて回答を求めた。

全体としては、通学時間が「1 時間未満」の学生が 51.9%と「1 時間～2 時間未満」が 47.3%と両者で 99.3%を占める。

前回と比較すると、「2 時間以上」が減少しているが、全体的には大きな変化は見られない。

学年別にみると、1, 2, 3 年生は「1 時間未満」と「1 時間以上 2 時間未満」が全体とほぼ同じであるのに対し、専攻科は 83.3%が「1 時間未満」である。



3. 大学生生活

[問 10] 授業以外で教員と話をすることはありますか.

1. よくある
2. ときどきある
3. ほとんどない
4. 全くない

問 10 表 全学年の選択肢別割合 (%)

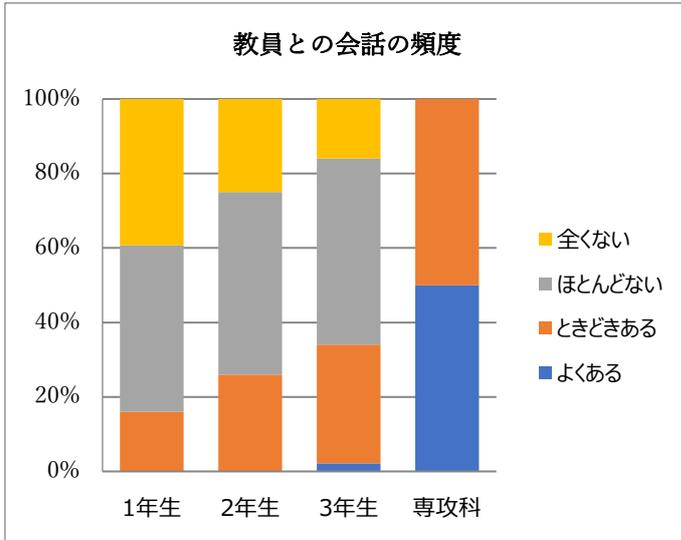
	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくない	合計
前 回	4.47	27.16	38.98	29.39	100
今 回	1.92	26.54	47.31	24.23	100

この設問では、授業以外でどのくらいの頻度で教員と会話をするかについて回答を求めた。

全体としてみると、教員との「会話がある」（「よくある」＋「ときどきある」）学生の割合 28.5%、「会話がない」（「ほとんどない」＋「全くない」）学生は 71.5%である。

前回と比較すると、「よくある」、「ときどきある」、「全くない」学生が減少し、「ほとんどない」学生が増加した。

学年別にみると、「会話がある」学生の割合は 1 年生では 16.0%であるが、2 年生で 26.0%、3 年生では 34.0%と増加している。専攻科は 100%とすべての学生が授業以外で教員と会話している。学年が上がるにつれて教員とよく話す傾向である。学年が進むと、カリキュラムの中で実習の占める割合が増えるにしたがい、教員と身近に接する機会が多くなり、授業以外でも教員との会話が増えるのだろう。



[問 11] 昼食をおもにどこで食べるか選択してください。

1. 自宅（下宿含む）で食べる
2. 短大部棟2階マグネットラウンジで食べる
3. 薬学部棟1階学生ホールで食べる
4. 4号館学食で食べる
5. 歯学部附属病院の食堂で食べる
6. 空き教室（講義室）で食べる
7. 学外の飲食店で食べる
8. ほとんど食べない
9. その他

問 11 表 全学年の選択肢別割合 (%)

		自宅	講義室	短大塔棟2階マグネットラウンジ	薬学部1階ホール	歯学部基礎教育研究棟食堂	4号館食堂	附属病院食堂	学外の飲食店	屋外	ほとんど食べない	その他	合計
前回	1・2年生	5.37	49.27	37.07	6.83	0.49	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00	0.00	100
	3年生・専攻科	2.75	20.18	20.18	3.67	0.00	2.75	44.04	0.00	0.00	0.00	6.42	100
今回		1.92	54.23	11.54	0.00	—	1.15	27.69	0.00	—	0.00	3.46	100

この設問では、昼食をどこでとるかについて回答を求めた。

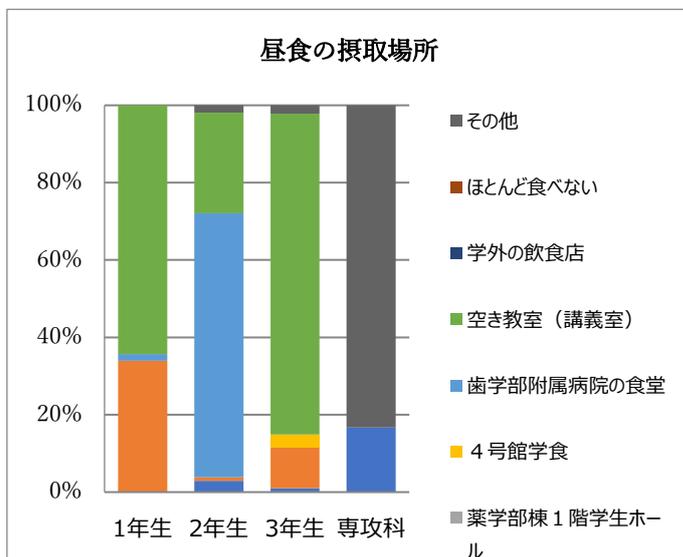
全体としては、昼食を「ほとんど食べない」学生はいない。昼食に関しても規則正しい食生活をしてい

る。また、「学外の飲食店で食べる」、「屋外で食べる」学生はいない。食事を提供する学内施設は、楠元キャンパスには薬学部1階学生ホール、4号館食堂があり、末盛キャンパスには歯学部附属病院食堂がある。また、食事は提供されないが短大部棟にラウンジが新設され多くの学生が利用している。しかし、最も多いのは「講義室」であることから自宅からの弁当持参か、コンビニなどで購入した弁当を利用していると思われる。もちろん、食事を提供する施設においても弁当の利用はできる。

本学科は、1年生、2年生の春学期と3年生の秋学期は楠元キャンパスで授業および基礎実習を、2年生秋学期、3年生春学期と専攻科は主に歯学部附属病院で臨床実習を行っているため、昼食をとる場所は楠元キャンパスと歯学部附属病院では異なる。楠元キャンパスでは、「講義室」で昼食をとる学生が最も多く、次いで、「短大部棟2階マグネットラウンジ」、「4号館食堂」の順であり、この3カ所で9割近くの学生が昼食をとっている。主に歯学部附属病院で臨床実習を行っている期間は、約3割が「歯学部附属病院食堂」である。

前回と比較すると、「薬学部1階学生ホール」は0に減少した。また、4号館カフェテリアは食事を提供できるようになっているが、利用者は少なく、今回のアンケートではさらに減少した。「歯学部附属病院食堂」の利用が減少している。選択肢にはないがロッカールームで昼食をとっている可能性がある。また、「自宅（下宿を含む）」で昼食をとる学生は前回と比較すると全学年で減少していた。

学年別に見ると、「講義室」を利用する学生は、1年生 64.3%、2年生 30.0%、3年生 83.0%、専攻科 0%であり。「短大部棟2階マグネットラウンジ」を利用する学生では1年生 52.8%、2年生 1.0%、3年生 10.6%、専攻科 0%である。「講義室」と「短大部棟2階マグネットラウンジ」は2年生の利用が少ない。また「歯学部附属病院食堂」を利用する学生は2年生で68.3%と多い。これは、アンケートを取った時点で2年生が臨床実習期間であったこと関係している。一方専攻科は臨床実習している場合も、楠元キャンパスにいる場合も専攻科専用の控室で昼食をとっている可能性が高い。



[問 12]学内の図書館情報センターをどの程度利用しているか選択してください。

1. ほぼ毎日利用している
2. 週に2~3日利用している
3. 1ヶ月に数日利用している
4. テスト前やレポート提出のときだけ利用している

5. ほとんど利用していない

問 12 表 全学年の選択肢別割合 (%)

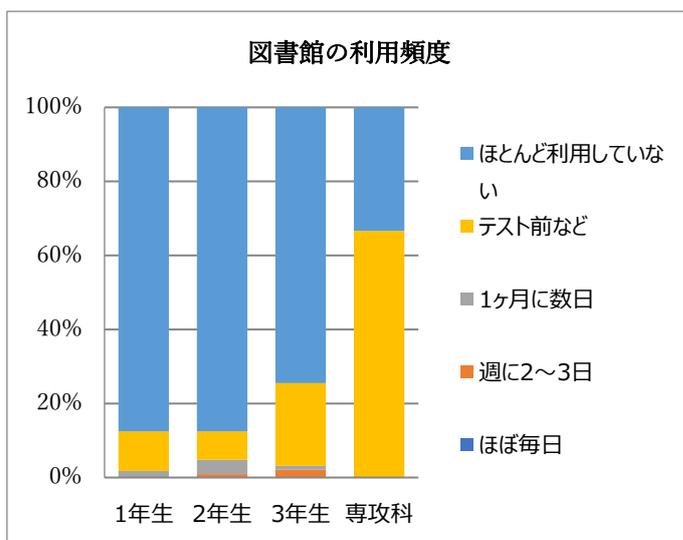
	ほぼ毎日利用	週に2・3日 利用	一ヶ月に数日 利用	テスト前やレポ ート提出時	ほとんど利用 しない	合計
前 回	0.63	1.27	2.54	31.43	64.13	100
今 回	0.00	1.15	2.31	15.00	81.54	100

この設問では、図書館（歯学・薬学図書館情報センター）の利用頻度について回答を求めた。

全体としては、「ほとんど利用しない」学生が8割以上を占める。利用する学生は「テスト前やレポート提出のときだけ利用している」学生が多く、定期的に図書館を利用している学生は少数である。

前回と比較すると、利用している学生は減少し、「殆ど利用しない」が増えている。

学年別にみると、「ほとんど利用しない」学生は1年生と2年生共に87.5%、3年生74.5%、専攻科33.3%と1、2年生が最も図書館を利用していない。利用する学生ではいずれの学年も、「テスト前やレポート提出時」だけ利用している学生が多く、その割合も1年生11.1%、2年生7.7%、3年生22.3%、専攻科66.7%であり3年生・専攻科がやや高い、3年生・専攻科に定期試験はないが卒業研究および専攻研究のため、図書館所蔵の専門書を参照する必要があると思われる。



[問 13] 1日の平均勉強時間はどのくらいか選択してください。

1. ほとんどしない
2. 約1時間
3. 約2時間
4. 約3時間以上
5. 特に決まっていない

問 13 表 全学年の選択肢別割合 (%)

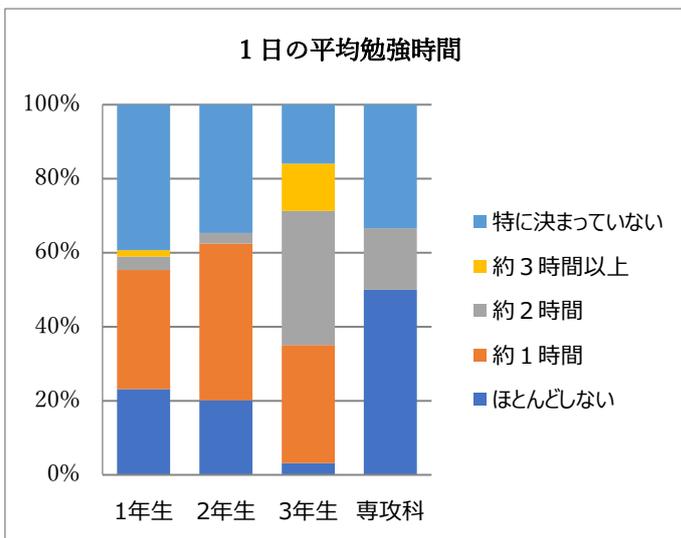
	ほとんどしない	約1時間	約2時間	約3時間	約4時間	5時間以上	決まっていない	合計
前回	41.27	17.78	5.71	0.95	0.00	0.32	33.97	100
今回	15.38	35.38	15.38	5.00			28.85	100

この設問では、1日の平均勉強時間はどれくらいかについて回答を求めた。

全体としてみると、勉強時間は「約1時間」と「約2時間」で約半数を占めている。次いで、「特に決まっていない」が28.9%を占めている。3時間以上勉強する学生も5%占めている。一方、「ほとんどしない」が15.4%を占めている。「特に決まっていない」学生は試験前、レポート提出時などに勉強時間が増すということだろう。

前回と比較すると、「約1時間」と「約2時間」が増加し、「ほとんどしない」と「決まっていない」が減少し、毎日の勉強習慣が身につけている学生が増加していると考えられる。

学年別にみると、「ほとんどしない」学生の割合は、1年生で23.2%、2年生で20.2%、3年生3.2%でと学年が上がるほど減少しているが、専攻科50%と最も多い。



[問14] 学内に学生相談室が開設されているのを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

問14表 全学年の選択肢別割合 (%)

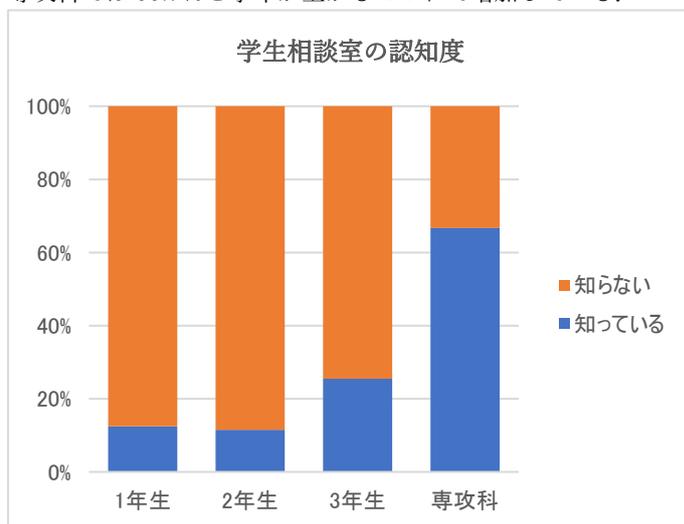
	大体のことは知っている	詳しくは知らない	知らない	合計
前回	1.91	23.25	74.84	100
今回	18.08	81.92		100

この設問では、学生相談室が開設されているのを知っているかについて回答を求めた。

学生相談室の開設されていることを「大体のことは知っている」学生は約2割、「知らない」学生が約8割であった。学生相談室についての周知方法を検討する必要がある。

前回と比較すると、「知っている」学生が増加し、「知らない」学生が減少している。

学年別にみると、「知っている」学生は1年生で12.5%、2年生で11.5%と少ないが、3年生では25.5%、専攻科では66.7%と学年が上がるにつれて増加している。



[問 15] 学生相談室の利用状況について選択してください。

1. 利用したことがあり、これからも機会があれば利用したい
2. 利用したことがあるが、これからは利用したくない
3. 利用したいが、行きにくい
4. 利用したことはないが、必要があれば利用したい
5. 利用したことがなく、今後も利用しないと思う

問 15 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	利用したことがあり、これからも利用したい	利用したことがあるが、これからは利用したくない	利用したいが、行きにくい	利用したことはないが、必要があれば利用したい	利用したことがなく、今後も利用しないと思う	合計
前回	1.91	0.00	2.55	35.67	59.87	100
今回	1.15	0.00	1.15	45.38	52.31	100

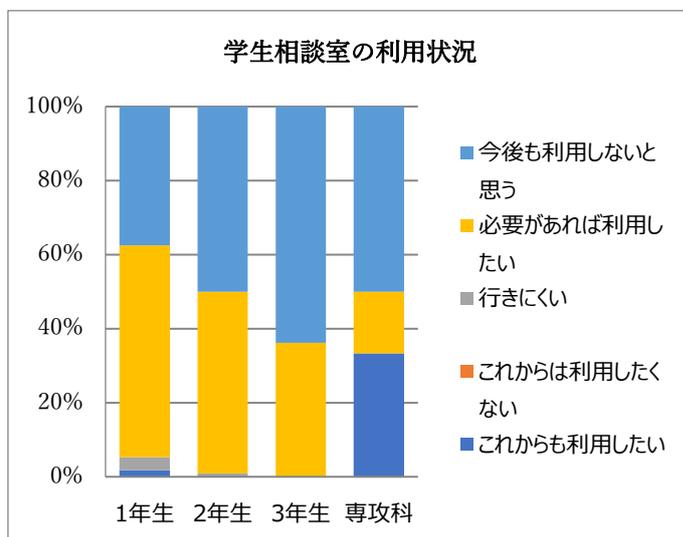
この設問では、学生相談室の利用状況について回答を求めた。

全体としてみると、[問 14] で「大体知っていた」と回答した学生が18%いたのに対し、実際に利用したことがある学生は約1%に過ぎない。また、利用したことがないが「必要があれば利用したい」学生は45.4%いる一方で、「今後も利用しないと思う」学生も52.3%と半数以上いて、およそ半半に分かれている。前回と比較しても、ほぼ同じ傾向を示している。

このように、学生相談室は「利用したことがなく、今後も利用しないと思う」学生が50%以上いる。学

生には、学生相談室が「気軽に行ける場所」、「個人のプライバシーが確実に守られる場所」、「様々な種類の相談が出来る場所」などであることを周知させる必要があるだろう。

学年別にみると、「利用したことがあり、今後も利用したい」学生は短大生には殆どいないが、専攻科には多い。



[問 16]次の中から悩んでいることを選択してください。(複数回答可)

1. 勉学の問題
2. 就職等、将来の進路の問題
3. 対人・異性関係の問題
4. 家庭内の問題
5. 性格・能力の問題
6. 経済上の問題
7. 思想・生き方の問題
8. 健康の問題
9. その他
10. 特にない

問 16 表 全学年の選択肢別割合 (%)

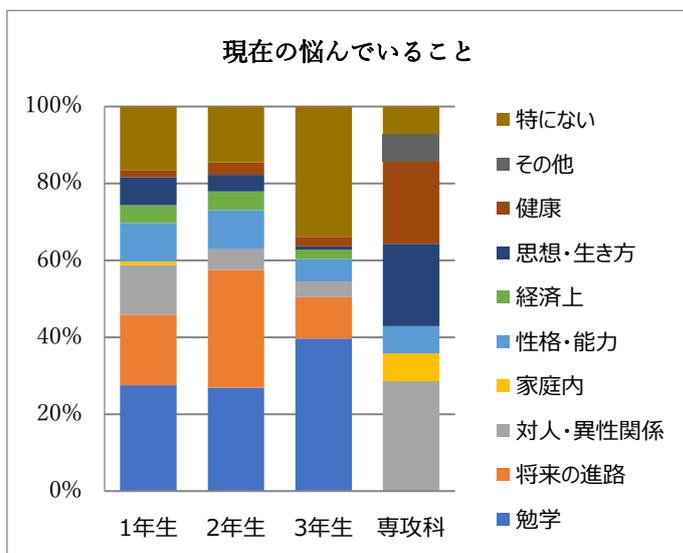
	勉学の問題	就職等将来の進路の問題	対人・異性関係の問題	家庭内の問題	性格・能力の問題
前回	48.55	46.95	12.22	1.61	13.18
今回	49.23	34.62	12.69	0.77	14.62
	経済上の問題	思想・生き方の問題	健康の問題	その他	特にない

前回	8.68	6.43	4.18	0.64	22.51
今回	6.54	7.69	5.38	0.38	33.46

この設問では、現在どのようなことを悩んでいるかについて回答を求めた。複数回答選が可能であり、選択肢数は1年生109、2年生186、3年生121、専攻科14、合計430である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、悩んでいることが「特にない」学生が33.5%いる。悩み事で多いのは「勉学の問題」および「就職等将来の進路の問題」である。次いで「性格・能力の問題」、「対人・異性関係の問題」が続き、他の項目は10%以下である。前回と比較すると、「特にない」学生の割合が増加している。悩み事の順位は、前回とほぼ同一である。

学年別にみると、悩み事が「特にない」学生は1年生16.5%、2年生25.9%、3年生33.9%、専攻科7.1%であり、3年生は悩みが少なくなっている。とくに、「勉学の問題」に悩む学生は、1年生27.5%、2年生26.9%、3年生39.7%、専攻科0%である。短大では勉学に悩む学生はどの学年にもいるが、特に国家試験を控えている3年生が多くなっている。一方、専攻科には勉学に悩む学生はいない。これは、国家試験から開放されたことや、元々、勉学に悩むことのない学生が専攻科に進学していることによるのかも知れない。「就職等将来の進路の問題」に悩む学生は、1年生18.3%、2年生30.6%、3年生10.7%、専攻科0%と、1年生と2年生に多いが、3年生は少なく専攻科にはいない。1年生、2年生にはまだ歯科衛生士としての将来が鮮明ではないのに対し、3年生では迷うことのない明確な目標になって、さらに専攻科では学生であると同時に歯科衛生士として明確なビジョンを持っているためかもしれない。



[問 17] 誰に悩み事の相談をするか選択してください。(複数回答可)

1. 家族(身内)に相談する
2. 学内の友人に相談する
3. 学外の友人に相談する
4. クラブ・サークルの先輩に相談する
5. 教員に相談する
6. 事務職員に相談する

7. 学生相談室のカウンセラーに相談する
8. 学外の医師，カウンセラー等に相談する
9. 適切な相談相手がない
10. その他

問 17 表 全学年の選択肢別割合 (%)

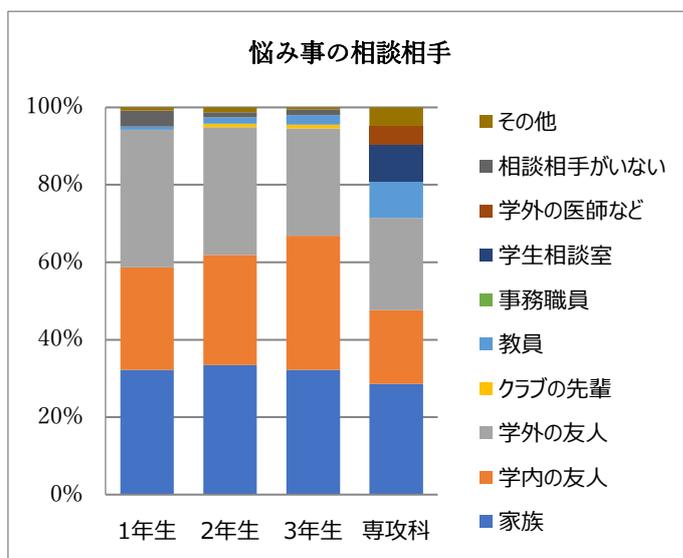
	家族	学内の友人	学外の友人	クラブの友人	クラブ以外の友人	クラブ・サークルの先輩	教員	職員	学生相談室	医師・カウンセラー	いない	なりゆき	その他
前回	64.42	—	—	10.90	34.29	—	1.92	0.96	0.00	0.00	4.49	28.53	—
今回	72.69	66.54	70.00	—	—	1.54	4.62	0.00	0.77	0.38	4.23	—	2.31

この設問では、誰に悩み事の相談をするかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生121、2年生236、3年生202、専攻科21、合計580である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

全体としては、相談する相手は、「家族（身内）」、「学外の友人」、「学内の友人」が最も多く、約7割を占めている。即ち、相談相手は複数に及んでいる。その他の相談相手は何れも5%以下で、「学生相談室」に相談する学生は1%にも満たない。また「相談相手がない」学生も4.5%いる。

前回、選択肢が同じではないため、単純には比較できないが、概ね「家族」と「友人」が相談相手である傾向は変わらないと思われる。また、「教員」に相談する学生は少ないながら増加している。

学年別にみると、「家族に相談する」学生は、1年生32.2%、2年生33.5%、3年生32.2%、専攻科28.6%で、何れの学年も約3割を占めている。また「学外の友人」、「学内の友人」もほぼ同様な傾向を示す。一方、「適切な相談相手がない」学生が僅かであるが、1年生4.1%、2年生1.3%、3年生1.5%いる。



[問 18]誰（どこ）に大学や学習に関する疑問，不満，要望を相談するか選択してください。（複数回答可）

1. 短期大学部事務室窓口
2. 学生相談室
3. 教員
4. 友人
5. 家族等
6. その他
7. どこ（誰）にも話さない
8. 疑問，不満，要望などはない

問 18 表 全学年の選択肢別割合（％）

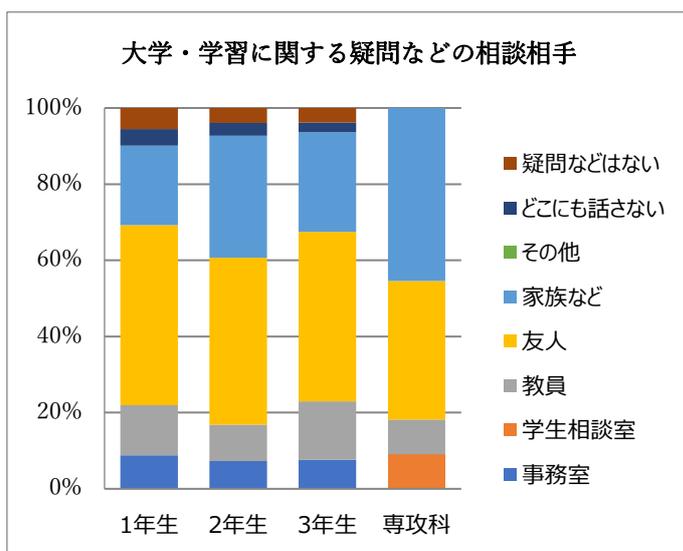
	事務室	学生相談室	教員	友人	家族など	その他	どこにも話さない	疑問などはない
前 回	9.65	0.64	16.08	58.20	41.16	0.32	8.36	18.97
今 回	12.69	0.38	20.77	75.00	46.92	0.00	5.38	6.92

この設問では，大学や学習に関する疑問，不満，要望など（疑問等）をどこ（誰）に相談するかについて回答を求めた。複数回答が可能であり，選択肢数は1年生 91，2年生 178，3年生 157，専攻科 11，合計 437 である。図は各学年における総選択肢数に対する割合を示す。

全体としては，「疑問等はない」学生は 6.92％であり，ほとんどの学生が大学や学習に対して何らかの疑問等をもっている。疑問等に関して相談する相手で最も多いのは「友人」で 75％，次いで「家族など」46.9％，「教員」20.8％，「短期大学部事務室」12.7％の順である。一方，疑問等をもっているも「どこ（誰）にも話さない」学生が 5.4％いる。

前回と比較すると，相談相手では，「友人」，「家族など」，「教員」，「事務室」が増加し，「どこ（誰）にも話さない」が減少している。

学年別にみると，「疑問等はない」学生は1年生 5.5％，2年生 3.9％，3年生 3.8％，専攻科 0％であり，ほとんどの学生が大学や学習に対して疑問等をもっている。相談相手として「友人」を選択した学生は，1年生 47.3％，2年生 43.8％，3年生 44.6％，専攻科 36.4％で，「家族など」は，1年生 47.3％，2年生 43.8％，3年生 44.6％，専攻科 36.4％で，どの学年も友人と家族の割合が多い。相談相手に「教員」を選択した学生の割合は，1年生 13.2％，2年生 9.6％，3年生 15.3％，専攻科 9.1％で，「短期大学部事務室」の割合は，1年生 8.8％，2年生 7.3％，3年生 7.6％，専攻科 0％である。大学や学習に関する疑問等に関する相談相手として，教員や事務室をもっと利用してほしい。一方，疑問等があっても「どこ（誰）にも話さない」学生は，1年生 4.3％，2年生 3.4％，3年生 2.5％，専攻科 0％であった。



[問 19]次の中から短期大学の教育で要望したいことは何か選択してください。(複数回答可)

1. 専門教育を充実させてほしい
2. 教養教育を充実させてほしい
3. キャリア教育（就職活動）を充実させてほしい
4. 科目選択の幅を増やしてほしい
5. コンピューター教育を充実させてほしい
6. その他
7. 特に要望はない

問 19 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	専門教育の 充実	教養教育の 充実	宗教教育の 充実	就職のため の教育	資格取得の ための教育	わかりやす いカリキュ ラム	科目選択の 幅
前回	31.95	6.71	0.32	24.28	16.61	13.74	3.83
今回	23.08	8.85	—	12.31	—	—	6.92
	少人数クラ ス	コンピュー ター教育	LLを使った 語学教育	視聴覚機材 をつかった 教育	その他	特に要望は ない	
前回	7.03	5.75	1.60	1.28	0.32	38.98	
今回	—	8.85	—	—	2.69	61.54	

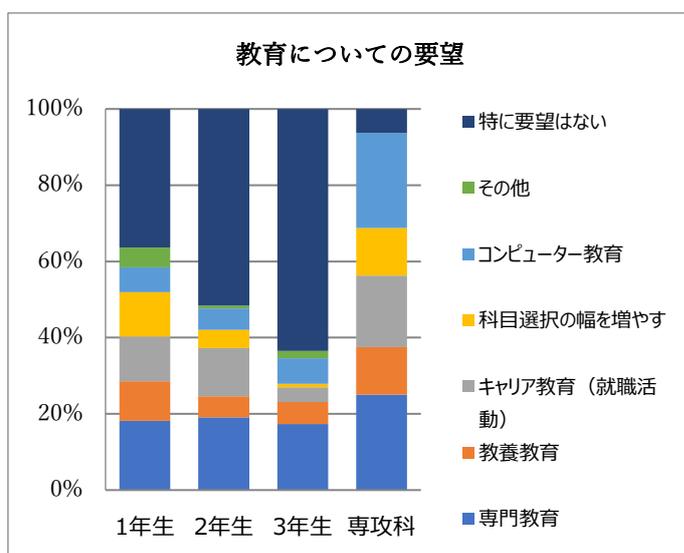
この設問は、本学科の教育で特に要望したいことについて回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生 77、2年生 126、3年生 104、専攻科 16、合計 323 である。図は各学年における総回答

者数に対する割合を示す。

全体としてみると、「特に要望はない」学生が6割近くいる。要望としては「専門教育を充実してほしい」が最も多く、23.1%を占めている。次いで「就職のための教育を充実してほしい」が12.3%、「教養教育の充実」と「コンピューター教育」が8.85%、「科目選択の幅」6.92%と続く。

前回とは選択肢が異なるため単純には比較出来ないが、「専門教育の充実を望む」がやや減少し、「特に要望はない」が著しく増加している。

学年別に比較すると、「特に要望はない」学生は、1年生36.4%、2年生51.6%、3年生63.5%、専攻科6.3%で、特に専攻科は少ない。「専門教育を充実してほしい」学生は、1年生18.2%、2年生19.0%、3年生17.3%、専攻科25%でと専攻科が多い。歯科衛生士資格をもつ専攻科の学生が専門教育の充実を望むことは当然でもある。



[問 20] クラブ・サークルの所属について選択してください。

1. 学内の運動部に所属している
2. 学内の文化部に所属している
3. 学内の未公認サークルに所属している
4. 学外のサークルに所属している
5. 所属していない

問 20 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	学内運動部	学内文化部	学内未公認サークル	学外サークル	所属していない	合計
前回	7.82	11.40	0.65	5.86	74.92	100
今回	4.23	4.62	0.38	2.31	88.46	100

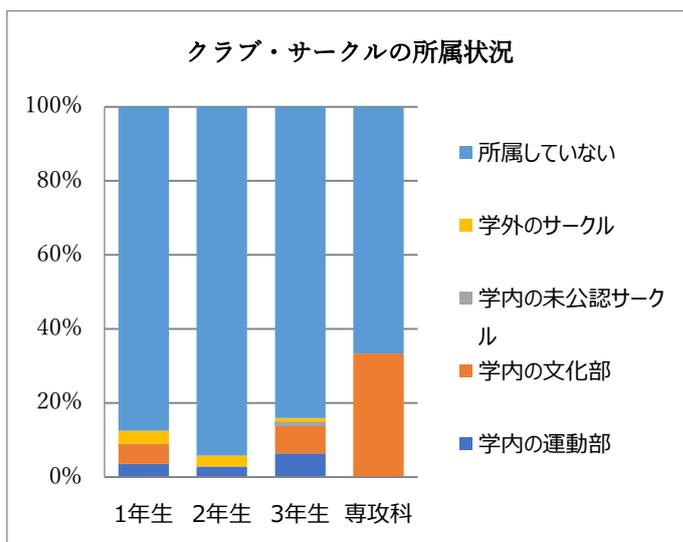
この設問では、いずれかのクラブ・サークルに所属しているかについて回答を求めた。図は各学年にお

ける総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「所属していない」学生が、所属している学生より圧倒的に多く、約9割の学生はクラブ・サークルに所属していない。比較的多い「学内文化部」と「学内運動部」でさえ、5%に満たない。

前回と比較すると、「所属していない」学生が前回より増加した。

学年別にみると、いずれの学年も「所属していない」が圧倒的に多いが、その割合は、1年生 87.5%、2年生 94.2%、3年生 84.0%、専攻科 66.7%である。大部分の学生がクラブ・サークルに所属していない理由として、コロナ禍にあって登校できない期間が長かったことも考えられる。一方、専攻科には「学内の文化部」に所属する学生が33.3%と際立っている。



4. 学外活動

[問 21] アルバイトの経験はありますか。

1. 経験がある
2. 経験がない

問 21 表 全学年の選択肢別割合 (%)

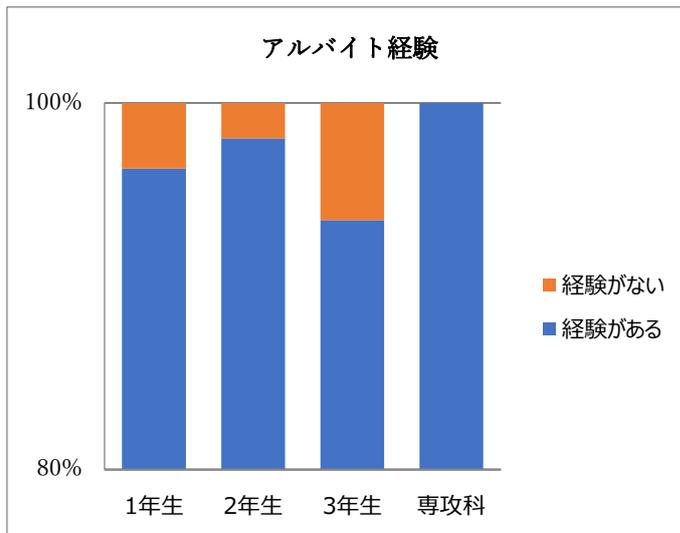
	経験がある	経験がない	合計
前回	92.38	7.62	100
今回	96.15	3.85	100

この設問では、アルバイト経験の有無について回答を求めた。

全体としては、アルバイトの「経験がある」学生が96.2%と圧倒的に多数である。

前回と比較すると、「アルバイト経験がある」学生の割合はやや増加している。

学年別にみると、「経験がある」学生は、1年生 96.4%、2年生 98.1%、3年生 93.6%、専攻科 100%で3年生がやや少ない。



[問 22] 現在、アルバイトの1週間あたりの平均勤務時間を選択してください。

1. 5時間未満
2. 5時間以上10時間未満
3. 10時間以上20時間未満
4. 20時間以上30時間未満
5. 30時間以上
6. 現在アルバイトはしていない

[問 22] は、アルバイト経験がある1年生54名、2年生102名、3年生88名、専攻科6名、全学年250名が対象である。

問 22 表 全学年の選択肢別割合 (%)

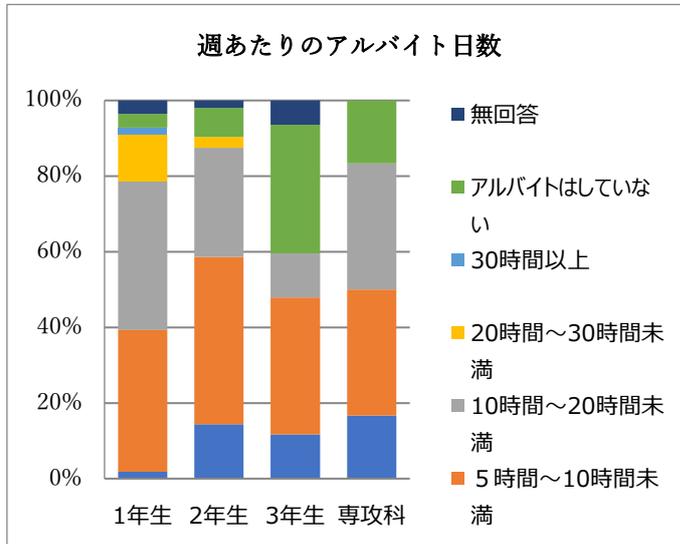
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	決まってい ない	合 計
前 回	5.48	14.73	37.33	14.73	8.90	2.05	0.34	16.44	100
	5時間未満	5時間以上 10時間未満	10時間以上 20時間未満	20時間以上 30時間未満	30時間以 上	現在アル バイトは していな い	合 計		
今 回	11.20	41.20	26.00	4.00	0.40	17.20	100		

この設問では、1週間あたりの勤務時間について回答を求めた。

全体としては、週「5時間以上10時間未満」の学生が最も多く、次いで、「10時間以上20時間未満」、「5時間未満」の順であるが、「20時間以上30時間未満」と「30時間以上」も4.4%いる。また、「現在はしていない」学生も17%いる。

前回とは回答の選択肢が異なるため単純には比較できない。

学年別にみると、「現在はしていない」学生が3年生34.1%に多く、国家試験勉強を優先していると思われる。



[問 23]月あたりの平均アルバイトの収入を選択してください。

1. 3万円未満
2. 3万円以上5万円未満
3. 5万円以上7万円未満
4. 7万円以上10万円未満
5. 10万円以上

[問 23]～[問 25]は、現在アルバイトはしていない1年生52名、2年生94名、3年生56名、専攻科5名、全学年207名が対象である。

問 23 表 全学年の選択肢別割合 (%)

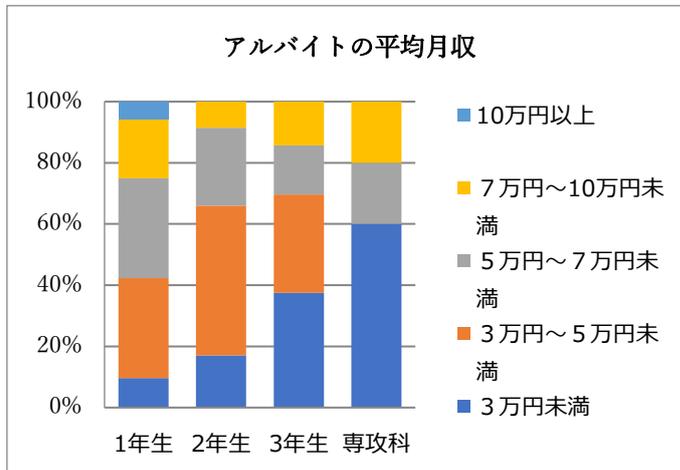
	2万円未満	2～4万円未満	4～6万円未満	6～8万円未満	8～10万円未満	10～12万円未満	12～14万円未満	14～16万円未満	16万円以上	合計
前回	4.47	28.52	35.05	20.62	8.59	1.72	1.03	0.00	0.00	100
	3万円未満	3万円以上5万円未満	5万円以上7万円未満	7万円以上10万円未満	10万円以上	合計				
今回	21.74	39.13	24.64	13.04	1.45	100				

この設問では、1ヶ月あたりのアルバイトの平均収入について回答を求めた。

全体としては、「3万円以上5万円未満」の学生が最も多く、次いで「5万円以上7万円未満」、「3万円未満」で、全体の85.5%を占める。また、「7万円以上10万円未満」と「10万円以上」も14.5%いる。

前回とは回答の選択肢が異なるため、単純には比較できないが、概ね同じような傾向を示している。

学年別にみると、「3万円未満」の学生は1年生 8.9%、2年生 15.4%、3年生 22.3%、専攻科 50%と学年が上がるにつれて増加している。一方、「7万円以上」の学生は1年生 23.2%、2年生 7.7%、3年生 8.5%、専攻科 16.7%と1年生に多い。



[問 24]次の中からアルバイトの職種を選択してください。(複数回答可)

1. 歯科医院
2. 飲食・フード
3. 販売・接客・サービス
4. 教育
5. レジャー・エンタメ
6. 営業・事務
7. 物流・配送
8. IT・コンピューター
9. その他

問 24 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	歯科医院	家庭教師・塾講師	事務員	軽作業	労働	特殊技能	新聞配達		
前回	27.74	1.37	1.37	3.08	0.68	0.34	0.00		
	デパート	一般商店	ガードマン	インストラクター	飲食店等	パブ等	その他		
前回	5.48	20.21	0.00	1.37	70.55	1.03	7.88		
	歯科医院	飲食・フード	販売・接客・サービス	教育	レジャー・エンタメ	営業・事務	物流・配送	IT・コンピューター	その他

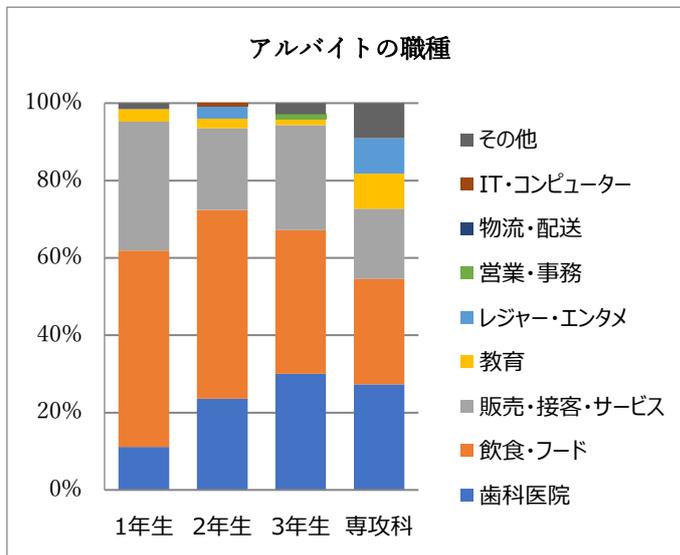
今 回	28.99	58.45	32.85	3.38	2.42	0.48	0.00	0.48	1.93
--------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------

この設問では、アルバイトの職種について回答を求めた。複数回答が可能であり、のべ回答者数は1年生67、2年生133、3年生108、専攻科12の合計320である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「飲食・フード」の学生が最も多く、次いで、「販売・接客・サービス」、「歯科医院」の順である。他の職種はいずれも5%以下である。

前回と比較しても、傾向は殆ど変わらない。

学年別にみると、いずれの学年も「飲食・フード」の学生が最も多く、その割合は1年生47.8%、2年生45.1%、3年生24.1%、専攻科25.0%で1年生と2年生が多い。それに対して、「歯科医院」でアルバイトをする学生は、1年生10.4%、2年生21.8%、3年生19.4%、専攻科25.0%で、1年生が少ない。



[問 25]次の中からアルバイト収入の使途を選択してください。(複数回答可)

1. 学費 (授業料等)
2. 勉学費 (教科書, 書籍, 文具等)
3. 通学交通費 (定期代), 免許取得費, 自動車・バイク等購入維持費
4. クラブ・サークル活動費
5. 生活費 (食住費)
6. 趣味, 被服, 娯楽
7. 貯金
8. その他

問 25 表 全学年の選択肢別割合 (%)

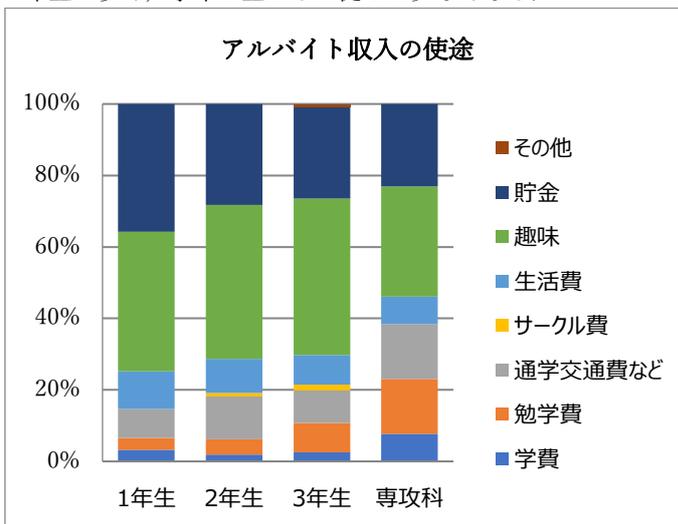
	学費	勉学費	通学交通 費等	クラブ・ サークル 費	生活費	通信費	家族の 生計費	医療費・ 保険料
前回	1.37	3.77	9.25	5.14	14.38	7.88	0.00	1.37
今回	5.80	12.08	23.19	1.93	21.26	—	—	—
	耐久消費 財 購入費	趣味等	旅行・レ ジャー費 等	被服・ おしゃれ 費	娯楽費	嗜好品	貯金	その他
前回	0.00	44.86	52.74	75.34	6.16	3.08	27.05	0.00
今回	—	94.20				—	66.18	0.48

この設問では、アルバイト収入の主な使いみちについて回答を求めた。複数回答が可能であり、総回答数は1年生127、2年生219、3年生159、専攻科14、合計516である。図は各学年における総回答者数に対する割合を示す。

全体としては、「趣味、被服、娯楽」に使う学生が94.2%と圧倒的に多く、次いで、「貯金」66.2%、「通学交通費等」23.2%、「生活費（食住費）」21.3%の順である。また、「勉学費」や「学費」に使う学生も、12.1%と5.8%いる。

前回とは選択肢が異なるため単純には比較できないが、「趣味、被服、娯楽」に相当する使途が圧倒的に多い点は前回と同様である。一方、「貯金」、「生活費」、「勉学費」、「学費」に使う学生は増加している。

学年別にみると、「趣味、被服、娯楽」への使途が1年生39.0%、2年生43.1%、3年生44.2%、専攻科30.8%で、専攻科がやや低い。「貯金」は、1年生35.8%、2年生28.2%、3年生25.8%、専攻科23.1%で、1年生に多く、学年が上がるに従って少なくなる。



[問 26]次の中から授業終了後の行動について選択してください。(複数回答可)

1. まっすぐ家に帰る
2. 友人と遊ぶ

3. 学内で勉強する
4. クラブ・サークル活動をする
5. 教室，学食，マグネットラウンジ等で過ごす
6. アルバイトに行く
7. 学外の各種学校に行く（資格取得等）
8. その他

問 26 表 全学年の選択肢別割合（％）

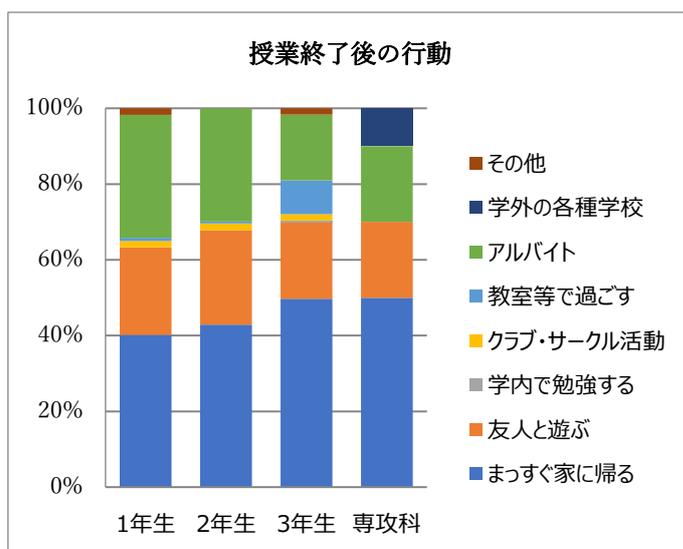
	まっすぐ家に帰る	友人と遊ぶ	学内で勉強する	クラブ・サークル	教室，学食，マグネットラウンジ等	アルバイト	学外の各種学校	その他
前回	48.57	7.30	0.63	3.17	—	39.05	0.32	0.95
今回	91.15	46.54	0.38	3.46	6.92	53.08	0.38	

この設問では、授業終了後はどのように過ごしているかについて回答を求めた。

全体としては、「まっすぐ家に帰る」が9割を超えて最も多い、次いで「アルバイトに行く」、「友人と遊ぶ」順である。また、学内の「教室，学食，マグネットラウンジ等で過ごす」学生も6.9%いる。まっすぐ帰る日もあれば、アルバイトをする日や友達と遊ぶ日も、学内で過ごしてから帰る日もあるということである。

前回と比較すると、「まっすぐ家に帰る」と「友人と遊ぶ」増加している。

学年別にみると、「まっすぐ家に帰る」学生は1年生（40.2%）、2年生（42.9%）、3年生（49.7%）、専攻科（50.0%）と学年が上がるに従って多くなる。一方、「アルバイトに行く」学生は1年生（32.5%）、2年生（29.9%）、3年生（17.3%）、専攻科（20.0%）と学年が上がるに従って少なくなる傾向がある。「友人と遊ぶ」学生には、学年による違いは殆ど認められない。



5. 進路・満足度

[問 27]卒業後の進路について選択してください。

1. 歯科衛生士として就職
2. 歯科衛生士以外の職業に就職
3. 進学
4. 海外留学する
5. まだわからない
6. その他

問 27 表 全学年の選択肢別割合 (%)

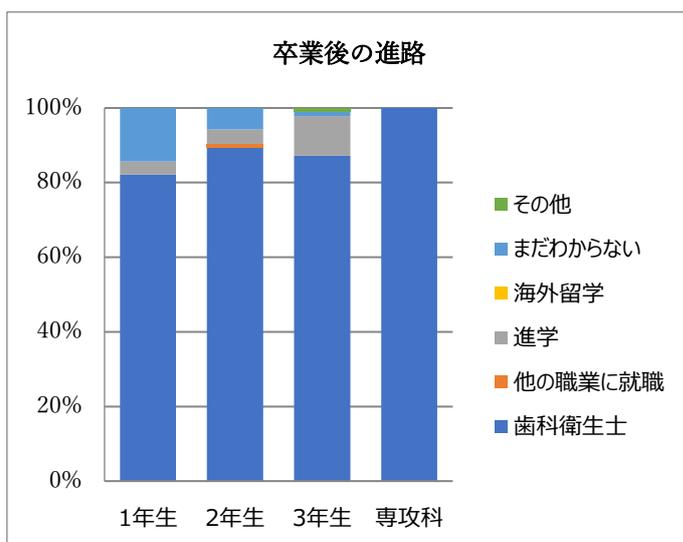
	就職する	専攻科に 進学する	海外留学する	各種学校など に行く	定職につか ない	まだわから ない	その他	合計
前 回	81.43	9.77	0.65	0.00	0.33	7.82	0.00	100
	歯科衛生士とし て就職	歯科衛生士 以外に就 職	進学	海外留学する	まだわから ない	その他	合 計	
今 回	87.31	0.38	6.15	0.00	5.77	0.38	100	

この設問では、卒業後の進路予定について回答を求めた。

全体としては、「歯科衛生士として就職」と解答した学生が 87.3%と最も多い。次いで「進学」と「まだわからない」学生がほぼ同じ割合（約 6%）いる。

前回と比較しても、大多数は「歯科衛生士として就職」であり、続いて「進学」、「まだわからない」の順であるは全く同じである。

学年別に比較すると、いずれの学年も「歯科衛生士として就職」学生が圧倒的に多いが、その割合は 1 年生 (82.1%)、2 年生 (89.4%)、3 年生 (87.2%)、専攻科 (100%) で学年が上がるにつれてやや増加した。「進学」は 1 年生 3.6%、2 年生 3.8%、3 年生 10.6%と 3 年生の割合が多い。一方、「まだわからない」は 1 年生 14.3%、2 年生 5.8%、3 年生 1.1%で、学年が上がるに従って、進路が明確になる。



[問 28] 学生生活の充実度について選択してください。

1. 充実している
2. 充実していない
3. どちらも言えない

問 28 表 全学年の選択肢別割合 (%)

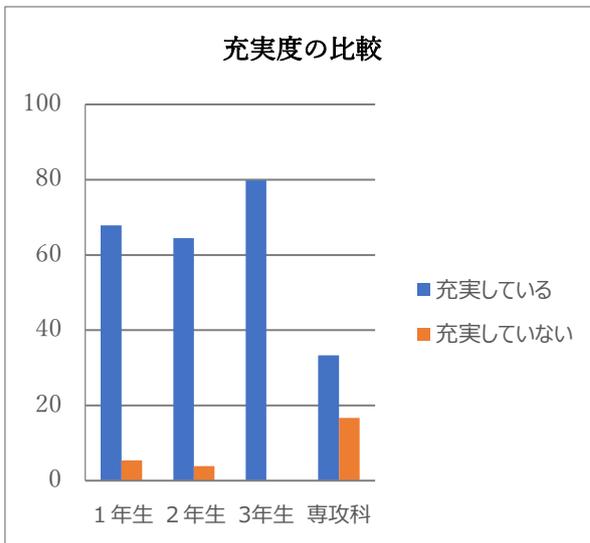
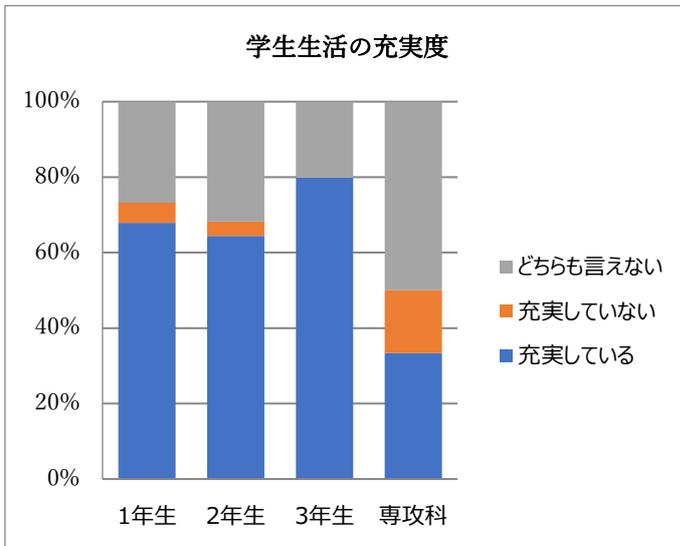
	とても充実	かなり充実	まあまあ	あまり	全く	わからない	合計
前 回	20.00	28.25	48.89	2.54	0.00	0.32	100
	充実している		充実していない		どちらも言えない		合計
今 回	70.00		3.08		26.92		100

この設問では、学生生活の充実度について回答を求めた。

全体としては、「充実している」と答えた学生が 70%で、「充実していない」と答えた 3.1%を大きく上回っている。

前回は、「充実している」学生は 58.3%、「わからない」が 0.3%と大幅に少なかったが、これは、「まあまあ」というどちらにも受け取れるような曖昧な選択肢に約半数が回答しているためがおもわれる。恐らく「まあまあ」を無しにすれば、今回とあまり違いがないのではないと思われる。

学年別に見ると、「充実している」学生は、1年生 67.9%、2年生 64.4%、3年生 80.0%、専攻科 33.3%で、専攻科が極めて少ない。逆に、「充実していない」学生は、専攻科が 16.7%と多い。



[問 29] 学科の内容全体に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 29 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	25.80	40.45	27.71	5.73	0.32	100

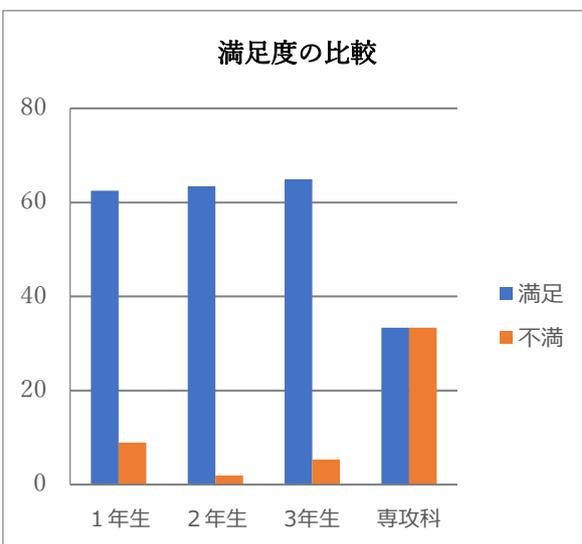
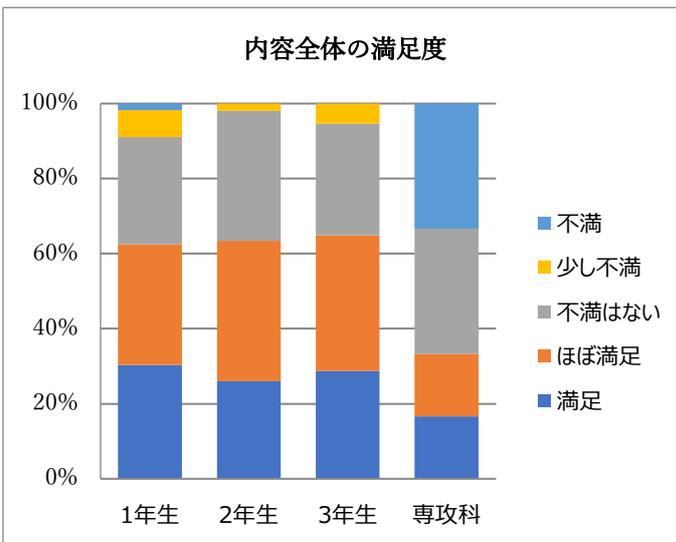
今回	27.69	35.38	31.54	4.23	1.15	100
----	-------	-------	-------	------	------	-----

この設問では、歯科衛生学科の内容全体の満足度について回答を求めた。

全体としては、「ほぼ満足している」学生が最も多く、次いで、「特に不満はない」、「満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」が最も少ない。

前回と比較しても、ほとんど同じ傾向を示している。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」が、1年生から3年生まで、60%以上であるのに対し、専攻科では「満足」の割合が少ない。逆に、専攻科では「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」が多い。



[問 30] 開講されている科目の種類や内容に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない

- 4. 少し不満がある
- 5. 不満だ

問 30 表 全学年の選択肢別割合 (%)

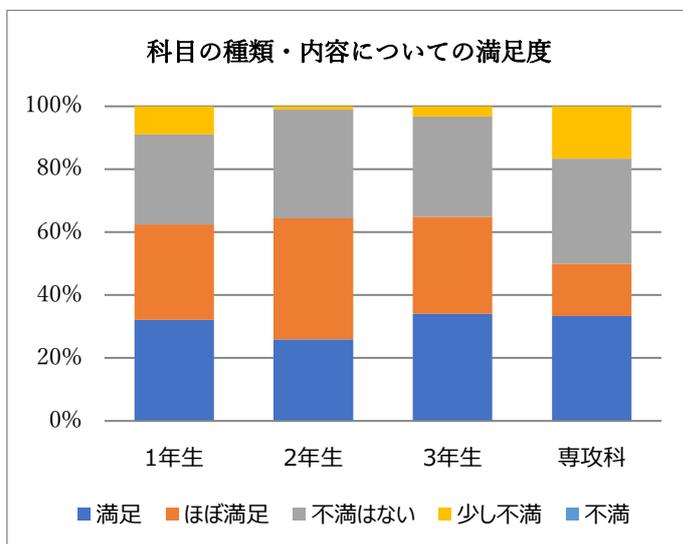
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前回	25.40	34.60	36.83	2.86	0.32	100
今回	30.38	33.46	32.31	3.85	0.00	100

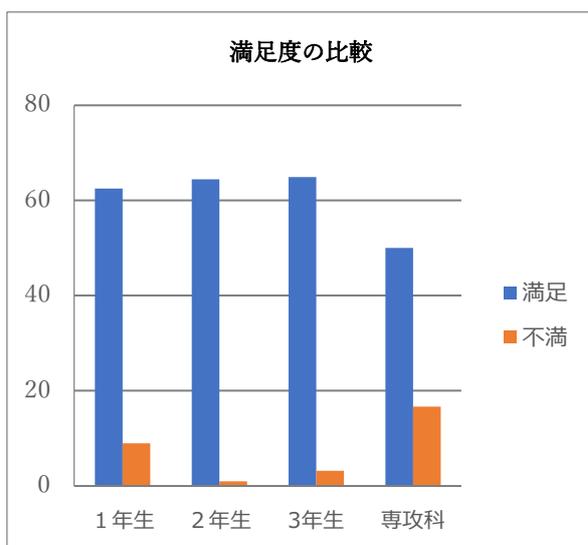
この設問では、開講されている科目の種類や内容の満足度について回答を求めた。

全体としては、「満足している」、「ほぼ満足している」、「とくに不満はない」学生が共に3分の1ずつで、他には「少し不満がある」が僅かにあるに過ぎない。

前回と比較すると、「満足している」が約5%増加し、その分「特に不満はない」学生が減少しているが、概ね変わっていないと見なせる。

学年別にみると、「満足している」学生の割合は1年生 32.1%、2年生 26.0%、3年生 34.0%、専攻科 33.3%と2年生の割合が少し低い。「ほぼ満足」の割合は1年生 30.4%、2年生 38.5%、3年生 30.9%、専攻科 16.7%で、専攻科が低い。「満足している」と「ほぼ満足」を加えた「満足」は、1年生 62.5%、2年生 64.5%、3年生 64.9%、専攻科 50.0%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生 8.9%、2年生 1.0%、次いで、3年生では 3.2%、専攻科 16.7%であり、1年生と専攻科がやや高い。





[問 31]時間割編成に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

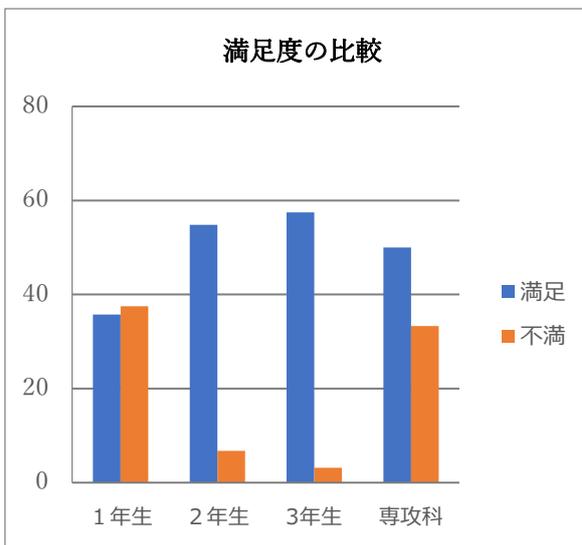
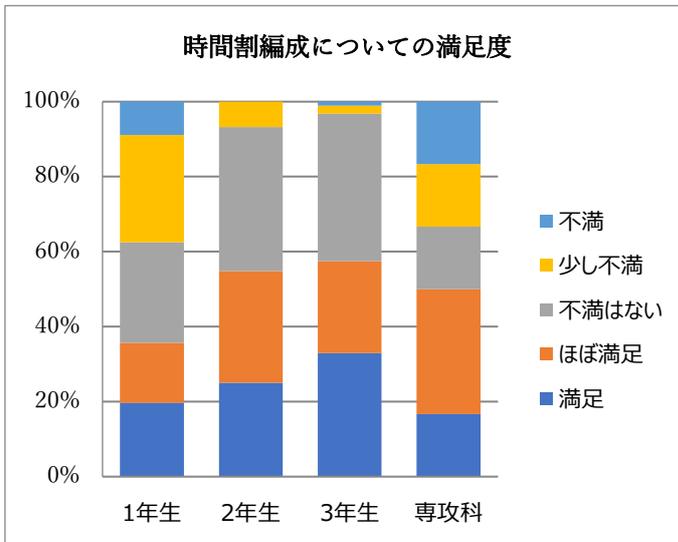
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前回	21.27	29.52	42.22	6.03	0.95	100
今回	26.54	25.00	35.77	10.00	2.69	100

この設問では、時間割編成の満足度について回答を求めた。

全体としては、「とくに不満はない」学生が最も多く、次いで、「満足している」、「ほぼ満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足」の割合は51.5%で、「不満」の12.7%より明らかに多い。

前回と比較すると、「特に不満はない」学生が最も多い点は変わらない。「満足」の割合は殆ど変わらないが、「不満」の割合は約2倍に増加している。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は、1年生19.6%、2年生35.0%、3年生33.0%、専攻科16.7%、「ほぼ満足している」割合は、1年生16.1%、2年生29.8%、3年生24.5%、専攻科33.3%である。それぞれを加えた「満足」の割合は1年生35.7%、2年生54.8%、3年生57.4%、専攻科50.0%で、満足度は1年生がやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生37.5%と専攻科33.3%とやや多く、2年生6.7%と3年生3.2%では少ない。



[問 32] 講義・実習の内容や方法に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 32 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	19.11	40.13	35.35	5.10	0.32	100

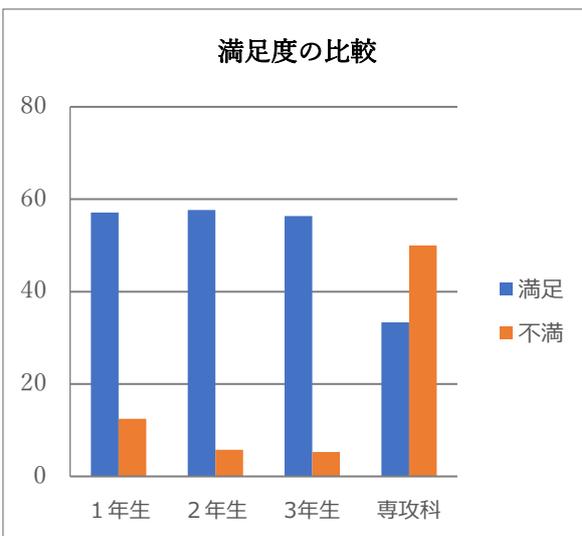
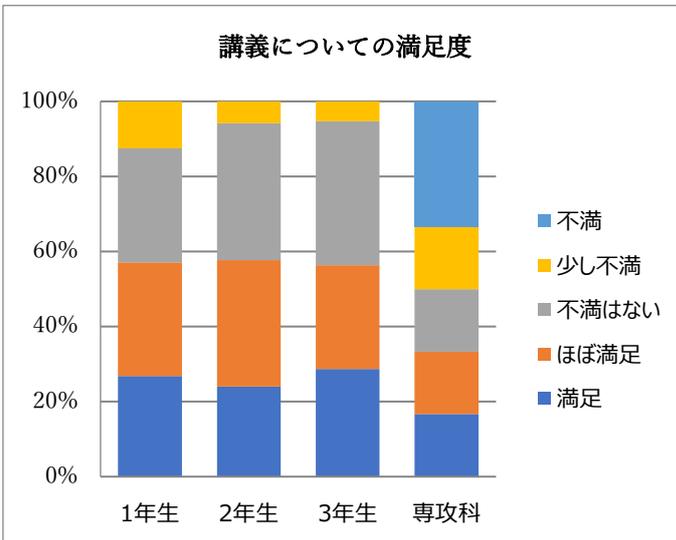
今回	26.15	30.38	35.38	7.31	0.77	100
----	-------	-------	-------	------	------	-----

この設問では、講義・実習の内容や方法に関する満足度について回答を求めた。

全体としては、「とくに不満はない」学生が最も多く、次いで「ほぼ満足している」、「満足している」、「少し不満がある」の順であり、「不満だ」は最も少ない。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は56.5%であり、「少し不満がある」+「不満だ」を加えた不満の割合8.1%より遙かに多い。

前回と比較すると、「満足」がやや増加し、「ほぼ満足」やや減少しているが、全体的には大きな変化は認められない。

学年別に見ると、「満足している」学生の割合は1年生26.8%、2年生24.0%、3年生28.7%、専攻科16.7%、「ほぼ満足している」の割合は、1年生30.4%、2年生33.7%、3年生27.7%、専攻科16.7%である。「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1年生から3年生は約60%近であるのに対し専攻科の満足度はやや低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は専攻科が最も多く50.0%、次いで1年生12.5%、2年生5.8%、3年生5.3%である。



[問 33]教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

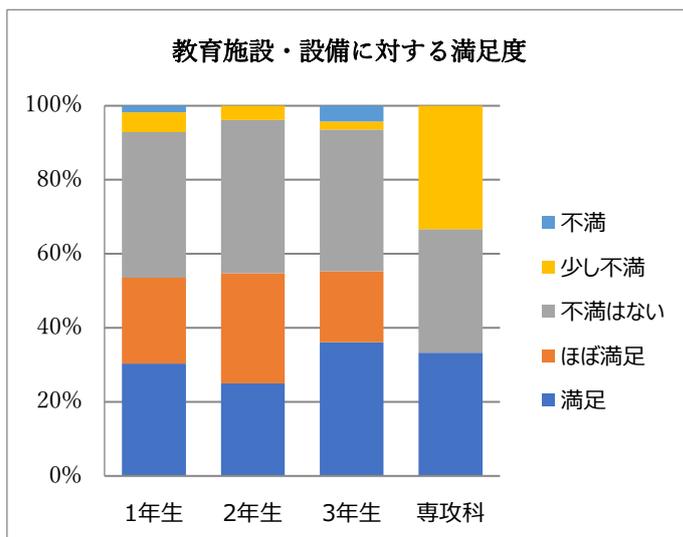
問 33 表 全学年の選択肢別割合（％）

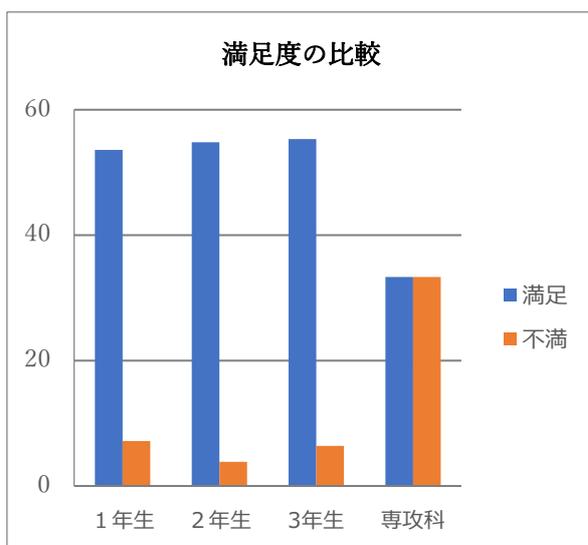
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	41.16	30.27	26.87	1.70	0.00	100
今 回	30.38	23.85	39.62	4.23	1.92	100

この設問では、教育施設・設備（教室・実習室・図書館情報センター等）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と回答した学生が最も多く、次いで「満足」、「ほぼ満足」、「少し不満」、「不満」の順であった。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」している学生の割合 54.2％は、「少し不満」と「不満」を加えた「不満」6.2％より圧倒的に多い。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生 53.6％、2年生 54.8％、3年生 55.3％、専攻科 33.3％である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生 7.1％、2年生 3.9％、3年生 6.4％、専攻科 33.3％であり、1年生から3年生までは「満足」が「不満」を大きく上回っているのに対し、専攻科では拮抗している。





[問 34] 課外活動施設（グラウンド，体育館等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 34 表 全学年の選択肢別割合 (%)

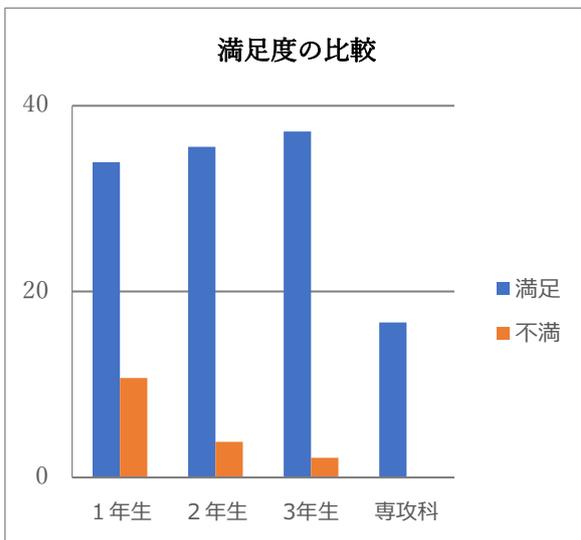
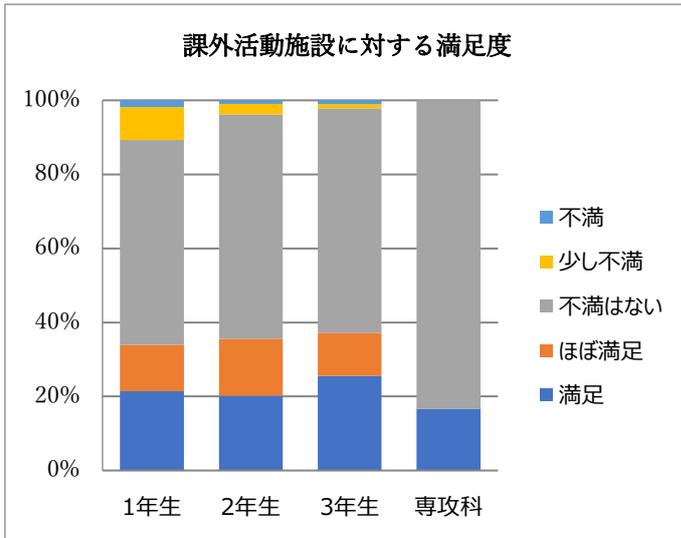
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前回	23.39	18.64	52.20	4.41	1.36	100
今回	22.31	13.08	60.00	3.46	1.15	100

この設問では，課外活動施設（グラウンド・体育館等）の満足度について回答を求めた。

全体としては，「特に不満はない」と回答した学生が60%を占めている。「満足」と「ほぼ満足」を加えた「満足」が35.4%に対し，「不満」と「少し不満」を加えた「不満」は4.6%と少ない。

前回と比較しても，ほぼ同様な傾向が認められた。

学年別に比較すると，「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生33.9%，2年生35.6%，3年生37.2%，専攻科16.7%で専攻科がやや低い。一方，「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生10.7%，2年生7.7%，3年生4.26%，専攻科0%と学年が上がるに従い低下している。



[問 35] 学内福利厚生施設（歯学部附属病院受診，保健室，食堂，売店等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 35 表 全学年の選択肢別割合 (%)

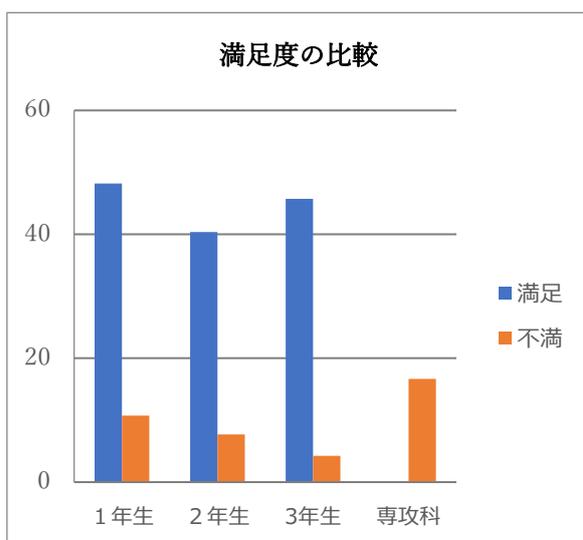
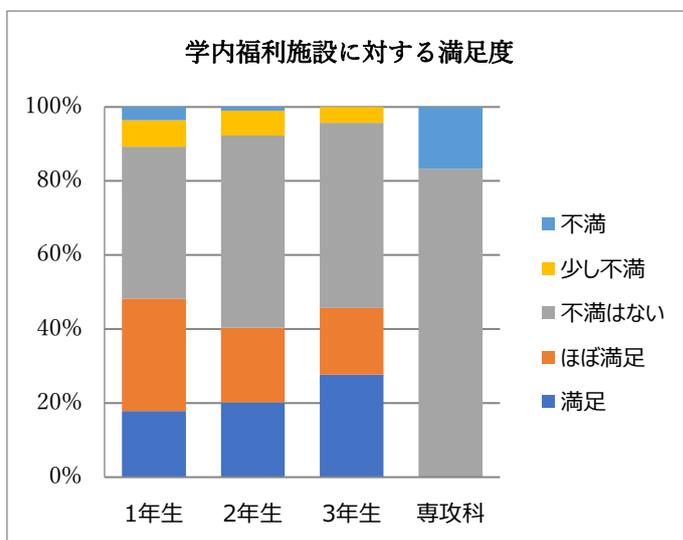
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計

前回	24.15	26.53	42.18	6.46	0.68	100
今回	21.92	21.15	49.62	5.77	1.54	100

この設問では、学外福利厚生施設（附属病院、保健室、食堂、売店等）の満足度について回答を求めた。全体としては、「特に不満はない」がほぼ半数を占めている。次に「満足」と「ほぼ満足」共に2割を占め、「少し不満」と「不満」が続く。

前回と比較しても、ほぼ同様の傾向が認められる。

学年別に比較すると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1年生33.9%、2年生35.6%、3年生37.2%、専攻科16.7%で、短大生は概ね満足であるのに対し専攻科では満足度が極端に低い。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生10.7%、2年生7.7%、3年生4.3%、専攻科16.7%で、専攻科が高い。なお、歯学部附属病院は、学生が受診するための福利厚生施設ではなく、臨床実習を行う教育施設と捉えており混同している可能性もある。



[問 36]文化活動（楠元祭、公開講演会等）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 36 表 全学年の選択肢別割合 (%)

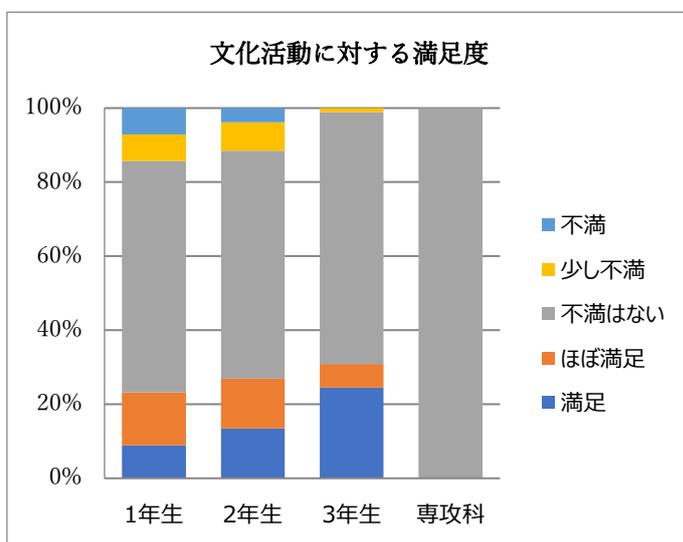
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	17.35	15.31	55.44	8.84	3.06	100
今 回	16.15	10.77	65.00	5.00	3.08	100

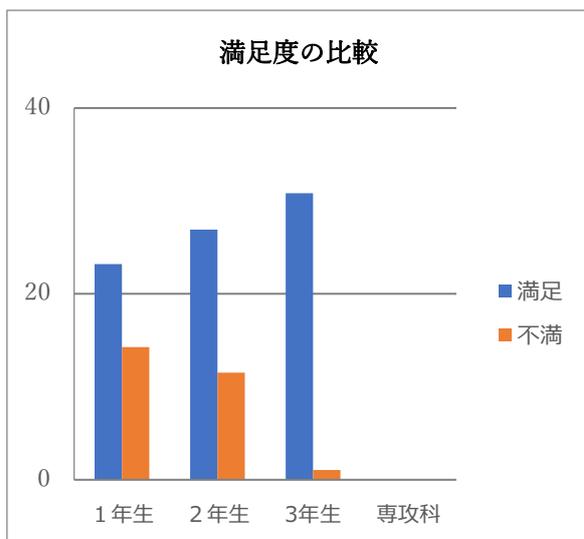
この設問では、文化活動（楠元祭関係含む）の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と答えた学生が65%を占めている。次いで「満足」、「ほぼ満足」が続く。

前回は「特に不満はない」が圧倒的に多く、2年連続で「特に不満はない」と答えた学生が大半を占める。これは、コロナ禍による楠元祭の中止や学術講演会の中止が影響している可能性がある。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生23.2%、2年生26.9%、3年生30.9%である。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は1年生14.3%、2年生11.5%、3年生1.1%である。また、専攻科では「満足」も「不満」も0%であり、文化活動への無関心さが現れているのかも知れない





[問 37]就職対策（キャリア対策）に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 37 表 全学年の選択肢別割合 (%) ※3年生と専攻科のみが対象

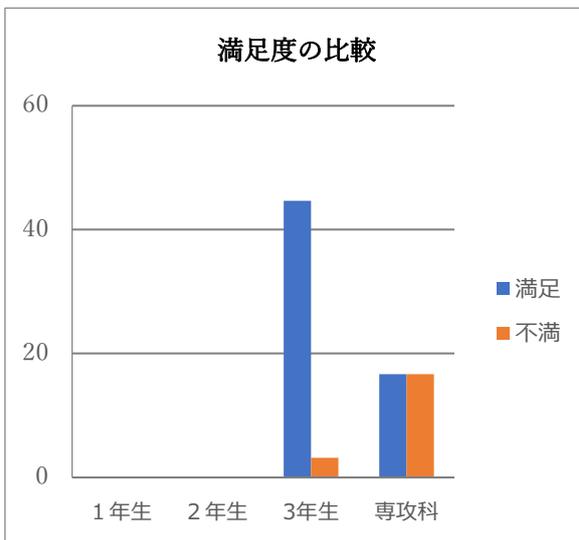
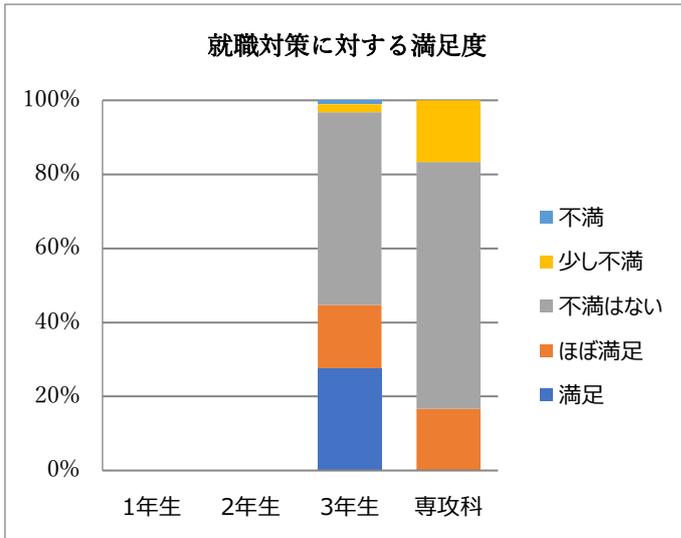
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前回	21.77	27.55	47.62	3.06	0.00	100
今回	26.00	17.00	53.00	3.00	1.00	100

この設問では、就職対策の満足度について3年生と専攻科の学生に回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」と回答した学生が約5割を超えている。次に「満足」、「ほぼ満足」と続き、「少し不満」と「不満」は少ない。

前回と比較しても、ほぼ同じ傾向が認められる。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は3年生44.7%、専攻科16.7%で、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は3年生3.1%、専攻科16.7%であった。今後、専攻科への就職対策を積極的に行う必要がある。



[問 38] 奨学金制度に関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある
5. 不満だ

問 38 表 全学年の選択肢別割合 (%)

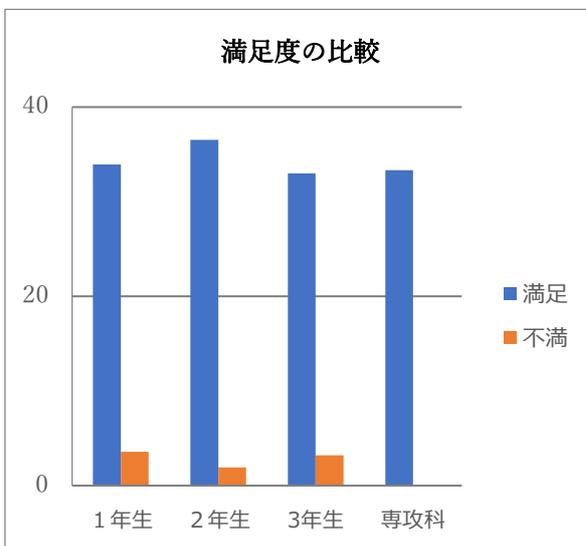
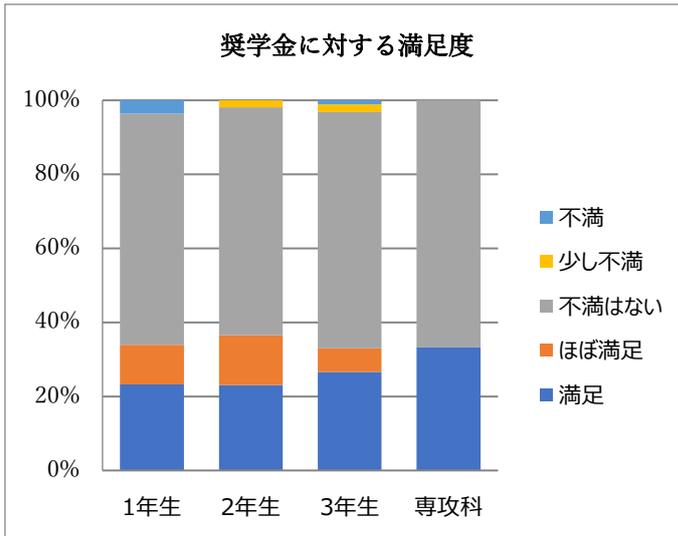
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	21.92	15.75	59.59	2.74	0.00	100
今 回	24.62	10.00	62.69	1.54	1.15	100

この設問では、奨学金制度の満足度について回答を求めた。

全体としては、「特に不満はない」が6割を超えている。次いで、「満足」、「ほぼ満足」が続き「少し不満」と「不満」は極めて少ない。

前回と比較しても、傾向は殆ど変わっていない

学年別に見ると、いずれの学年も「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は、1年生33.9%、2年生36.5%、3年生33.0%、専攻科33.3%で、学年による違いは認められない。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合はどの学年も低い。



[問 39]短期大学部事務室の窓口対応・サービスに関する満足度について選択してください。

1. 満足している
2. ほぼ満足している
3. 特に不満はない
4. 少し不満がある

5. 不満だ

問 39 表 全学年の選択肢別割合 (%)

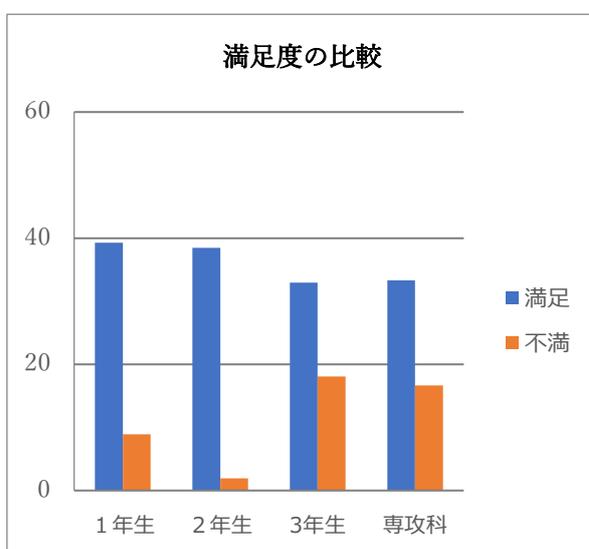
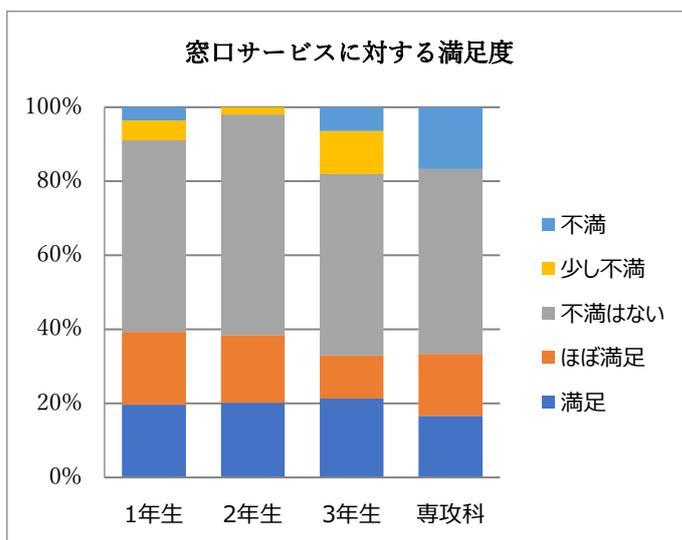
	満足	ほぼ満足	特に不満はない	少し不満	不満	合計
前 回	24.83	18.37	54.08	2.38	0.34	100
今 回	20.38	16.15	53.85	6.15	3.46	100

この設問では、事務サービスの満足度について回答を求めた。

全体としては、半数以上の学生が「特に不満はない」と回答した。次いで、「満足」、「ほぼ満足」、「少し不満」、「不満」と続く。

前回と比較すると、「少し不満」な学生の割合が僅かに増加しているが、概ね変わらない。

学年別に見ると、「満足している」と「ほぼ満足している」を加えた「満足」の割合は1年生 39.3%、2年生 38.5%、3年生 33.0%、専攻科 33.3%で、3年生と専攻科がやや少ない。一方、「少し不満がある」と「不満だ」を加えた「不満」の割合は、1年生 8.9%、2年生 1.9%、3年生 18.1%、専攻科 16.7%で、特に2年生が少ないのが際だっている。



6. その他

[問 40]個人で情報発信しているメディアについて利用しているものを選択してください。(複数回答可)

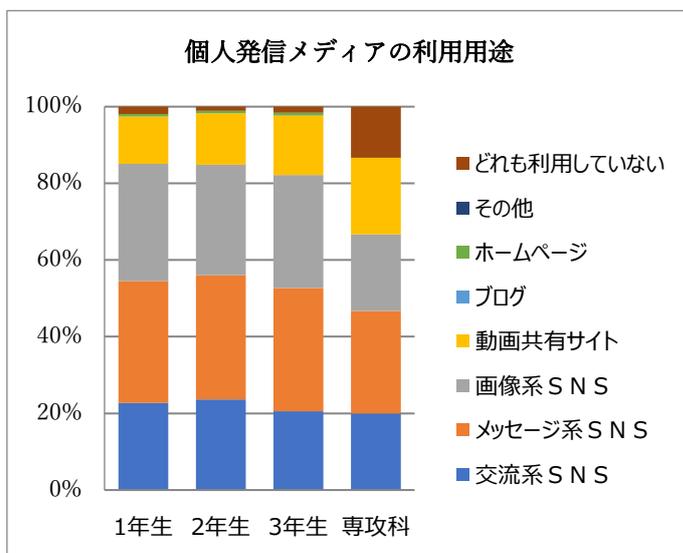
1. 交流系 SNS (Facebook, Twitter, mixi, LinkedIn, Google+等)
2. メッセージ系 SNS (LINE, Viber, WhatsApp, Wechat 等)
3. 画像系 SNS (Instagram, Snow 等)
4. 動画共有サイト (YouTube, TikTok, ニコニコ動画等)
5. ブログ (アメーバブログ, Seesaa ブログ等)
6. ホームページ
7. その他
8. どれも利用していない

問 40 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	交流系 SNS	メッセージ系 SNS	画像系 SNS	動画共有サイト	ブログ	ホームページ	その他	どれも利用していない
前回	—	—	—	—	—	—	—	—
今回	60.77	87.69	80.00	38.46	0.00	1.92	0.00	4.62

この設問では、個人で情報発信しているメディアについて回答を求めた。複数回答を可としているため、回答総数は 711 で、内訳は 1 年生 154, 2 年生 284, 3 年生 258, 専攻科 15 であった。全体的には、「メッセージ系」と「画像系」の利用が高く 80%を超えている。次いで「交流系」の 60.8%、「動画共有サイト」の 38.5%と続く。また「どれも利用していない」も 4.6%いる。なお、前回は設問がなかったため、比較できない。

学年別の利用用途は、「交流系」が 1 年生 22.7%, 2 年生 23.6%, 3 年生 20.5%, 専攻科 20%、「メッセージ系」が 1 年生 31.8%, 2 年生 32.4%, 3 年生 32.2%, 専攻科 26.7%、「画像系」が 1 年生 30.5%, 2 年生 28.9%, 3 年生 29.5%, 専攻科 20%である。専攻科はいずれも利用度が低い反面、「どれも利用していない」が多い。



[問 41] タバコを吸いますか。(複数回答可)

1. 吸わない
2. 紙巻きタバコを吸う
3. 加熱式タバコを吸う
4. 電子タバコを吸う
5. 水タバコを吸う
6. 無煙タバコを吸う
7. 以前は吸っていたが、やめた

問 41 表 全学年の選択肢別割合 (%)

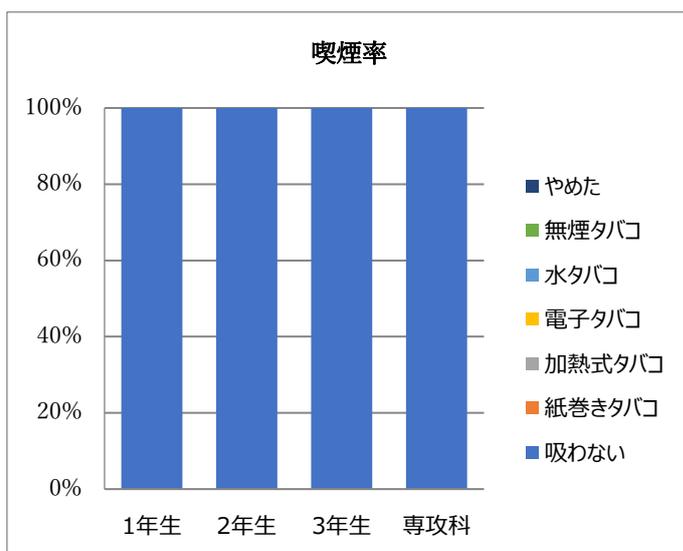
	毎日 20 本以上		毎日 1～19 本		毎日ではないが吸う			吸わない
	吸わない	紙巻タバコ	加熱式タバコ	電子タバコ	水タバコ	無煙タバコ	やめた	
前 回	0.32		0.64		0.64		98.40	
今 回	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

この設問は、たばこを吸う量について回答を求めた。

全体として、タバコを吸う学生はいない。

前回の調査では、たばこを吸う学生が 1.6%いたのに対し、今回は完璧な結果を示している

学年別でも、タバコを吸う学生はいない。



[問 42]楠元キャンパスを敷地内禁煙にすべきだと思いますか。 ※建物内だけでなく通路やグラウンド等
キャンパス内すべて禁煙

1. 敷地内禁煙にすべき
2. 喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底すればよい

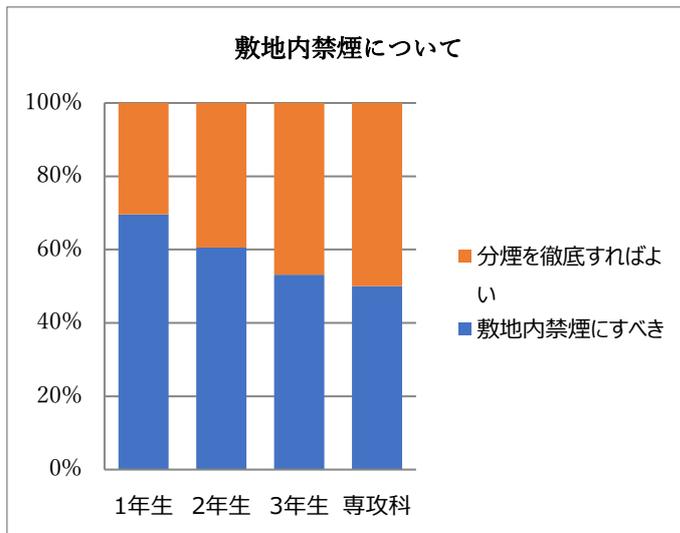
問 42 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	敷地内禁煙	喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底	合計
前 回	—	—	0
今 回	59.62	40.38	100

この設問は、楠元キャンパス内禁煙について回答を求めた。

全体として、「敷地内禁煙にすべき」が6割、「喫煙場所での喫煙（分煙）を徹底」が4割であった。

学年別には、「敷地内禁煙すべき」と答えた学生の割合は、1年生69.6%、2年生60.6%、3年生53.2%、
専攻科50%で、学年が上がるにつれて少なくなった。



[問 43]大麻，覚せい剤，危険ドラッグ等の薬物について選択してください。（複数回答可）

1. 使用したいと思わない
2. 使用してみたいと思ったことがある
3. 友人・知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある
4. 使用について誘われたことがある

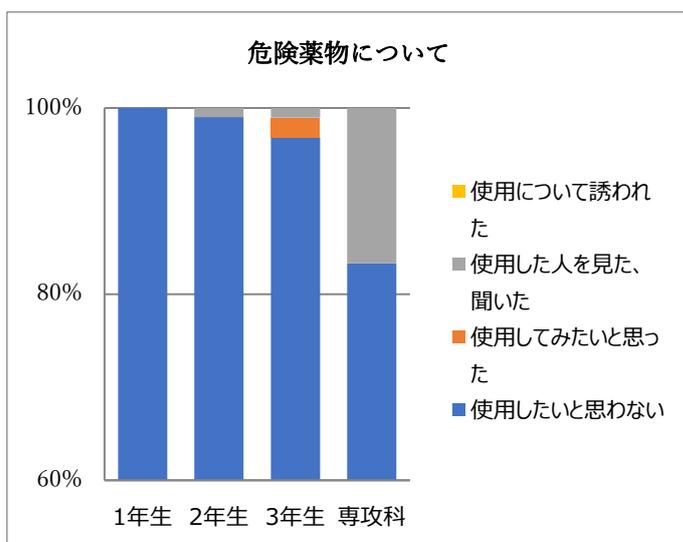
問 43 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	使用したいと思わない	使用したいと思ったことがある	使用したことがある	使用した人を見た（聞いた）	使用について誘われた
前回	98.72	0.00	0.00	2.24	0.64
今回	98.46	0.77	—	1.15	0.00

この設問は、大麻・覚醒剤などの薬物の使用についてどう思うかおよび経験の有無について回答を求めた。複数回答が可能であるが、複数回答したものはなかった。

全体としてみると、ほとんどの学生は「使用したいと思わない」と回答しているが、「友人、知人で使用した人を見た（または聞いた）ことがある」が 1.2%、「使用してみたいと思った」が 0.77%認められた。

学年別にみると、「使用したいと思わない」学生の割合が 1 年生 100%、2 年生 99.0、3 年生 96.8%、専攻科 83.3%で、学年が上がるにつれて少なくなる傾向を示している。「使用してみたいと思ったことがある」と回答した学生が 3 年生に 2.1%認められたが、国家試験へのストレスが反映しているのかもしれない。



[問 44] ボランティア活動に参加したことがありますか。

1. ある
2. ない

問 44 表 全学年の選択肢別割合 (%)

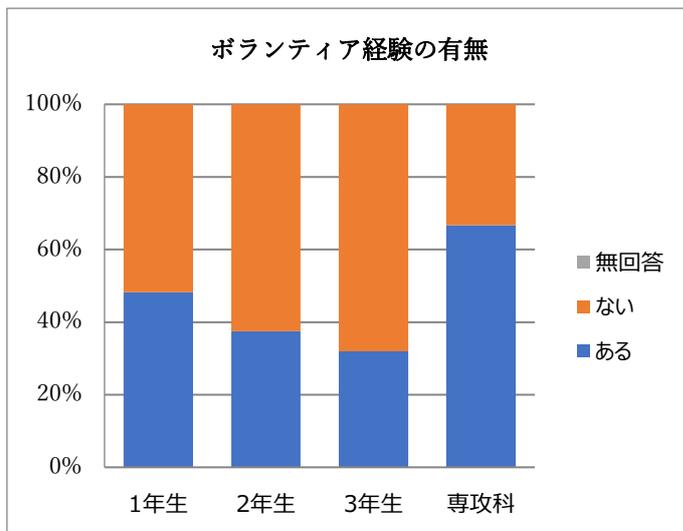
	ある	ない	合計
前回	43.79	56.21	100
今回	38.46	61.54	100

この設問では、ボランティア経験の有無について回答を求めた。

全体としては、ボランティア活動に参加した経験の「ある」学生が約 4 割「ない」学生が約 6 割である。

前回と比較すると、ボランティア活動経験の「ある」学生がやや減少しているが、概ね前回と同じ結果を示している。

学年別にみると、ボランティア活動経験者は、1 年生 48.2%、2 年生 37.5%、3 年生 31.9%、専攻科 66.7% である。短大生では、1 年生が多く、学年が上がるに従って少なくなるが、専攻科になると最も多い。



[問 45] ボランティア活動に参加しようと思いませんか。

1. 参加しようと思う
2. 参加しようとは思わない

問 45 表 全学年の選択肢別割合 (%)

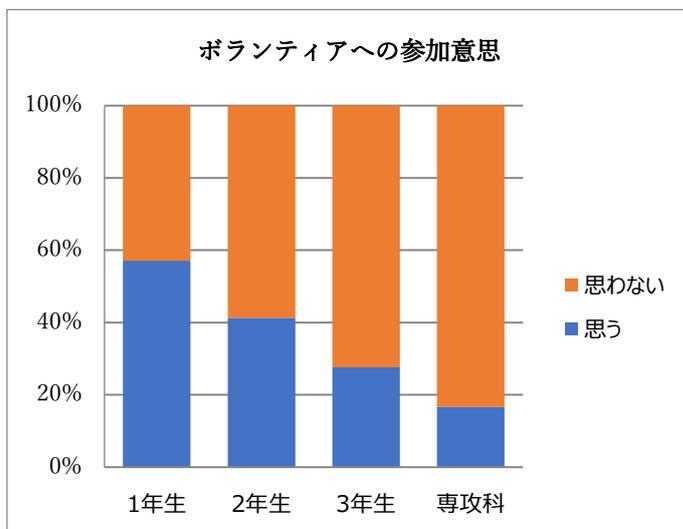
	積極的に参加 したい	どちらかという と 参加したい	どちらともいえな い	どちらかという と参加したくな い	絶対参加 したくない	合計
前 回	4.92	24.26	40.66	27.87	2.30	100
今 回	39.23		—	60.77		100

この設問では、今後ボランティア活動に参加したいかについて回答を求めた。

全体としては、「参加しようと思う」学生が約4割、「参加しようとは思わない」学生が約6割である。

前回は「どちらともいえない」という曖昧な選択肢に40%の回答があったため、今回と直接比較することはできない。しかし、概ね同じ傾向にあると思われる。

学年別にみると、ボランティアへの「参加意思のある」学生は、1年生57.1%、2年生41.3%、3年生27.6%、専攻科16.7%で、1年生が最も多く、学年が上がるに従い少なくなる。



[問 46] 過去にハラスメントをどこかで受けたことがありますか。(複数回答可)

1. 学外 (アルバイト先も含む)
2. 通学途中
3. 学内のクラブ・サークル
4. 学内の教室
5. 学内のその他の場所
6. 受けたことがない

問 46 表 全学年の選択肢別割合 (%)

	学外 サークル	アルバイト先	通学途中	学外の その他	学内のクラ ブ・サーク ル	学内の教 室	学内の その他	受けたこ とがない
前 回	0.98	7.84	4.90	0.65	0.00	1.31	1.63	86.60
今 回	5.00		2.69	—	0.00	0.77	0.77	91.54

この設問では、過去にハラスメントをどこで受けたかについて回答を求めた。複数回答が可能であり、回答者数は1年生56、2年生105、3年生95、専攻科6で、2年生と3年生に複数回答したものが1名いた。総回答者数は262である。

全体としては、ハラスメントを「受けたことがない」学生が9割を超え、受けたことのある学生は1割以下ある。受けた学生では、学外の割合5.0%で最も多く、次いで「通学途中」2.7%。学内の教室と教室外がそれぞれ0.8%である。

前回と比較すると、「受けたことがない」学生がやや増加し、学外で受けた学生がやや減少している。しかし、傾向は概ね変わらないと思われる。

学年別に比較すると、「受けたことがない」学生は1年生92.9%、2年生89.5%、3年生92.6%、専攻

科 66.7%であった。すなわち、専攻科にハラスメントを受けた学生が多く、その場所は「学内の教室内」であった。

